対象校No. 1055　　学校コード F144310111432
注4　　注3

設置年度　令和　5年度

計画の区分： 学部の設置
注1

認可

注2
日本文理大学　保健医療学部

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
（改正前大学設置基準適用）

学校法人文理学園
令和６年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名	大学企画業務担当
職名・氏名	次長・釘宮（ジチョウ クギミヤ）　啓（ケイ）
電話番号	097-524-2658
（夜間）	097-524-2654
ｅ－mail	dkikaku@nbu.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
（　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例）　○○大学　△△学部　□□学科
（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・大学の設置の場合：「○○大学」
・学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「○○大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院　○○研究科　○○専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
３　学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
４　対象校No.については、「【別紙】令和６年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

保健医療学部

＜保健医療学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　７

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　19

６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　39

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　41

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人文理学園

（2）大　学　名

日本文理大学

（3）調査対象大学等の位置

〒８７０－０３９７
大分県大分市大字一木１７２７番地１６２

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（スガ　サダヨシ ） 菅　貞淑 （平成１９年１月）		
学　　長	（ハシモト　ケンジロウ ） 橋本　堅次郎 （令和３年４月）		
学 部 長	（ムラナカ　ヒロユキ ） 村中　博幸 （令和５年４月）		
学科長等	（カメイ　オサム ） 亀井　修 （令和５年４月）	（マツオ　タカミ） 松尾　孝美 （令和６年４月）	職名：教室主任 任期満了による交代（６）

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和５年度に報告済の内容　→（５）
令和６年度に報告する内容　→（６）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・　様式は、令和元年度開設の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和６年度までの６年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が７年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
保健医療学部 保健医療学科 学士 （保健医療学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	4 年	160 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	640 人	－	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A　入学定員	人 － （　－　） ［　－　］	人	人 － （　－　） ［　－　］	人	人 － （　－　） ［　－　］	人	人 － （　－　） ［　－　］	人	人 160 （　－　） ［　－　］	人	人 160 （　－　） ［　－　］	人	－	0.81倍	－　倍	
志願者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	337 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	276 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］				
受験者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	327 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	274 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］				
合格者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	284 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	268 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］				
B　入学者数	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	126 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］	136 （　－　） ［　－　］	－ （　－　） ［　－　］				
入学定員超過率 B／A	－		－		－		－		0.78		0.85					

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。
なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
・　「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和７年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・　「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・　「（５）－②　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「４　既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	令和元年度		令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	126 [－] (－)	－ [－] (－)	136 [－] (－)	－ [－] (－)	令和5年度入学生126名のうち、1名が進路変更により退学し、もう1名が転学部を行った。
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	124 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		126 [－] (－)		260 [－] (－)		

（注）・　報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　[　　]内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（　）内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
令和5年度	126 人	1 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和6年度	260 人	0 人	令和元年度	－ 人	－ 人	
			令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合　計		1 人		1 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（〇人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{126} = \boxed{0.79}\ \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{260} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜保健医療学部＞

（1）－① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養教育科目		力学リテラシー	1前		2							3
		生物リテラシー	1前		2			1				
		化学リテラシー	1後		2							1
		情報リテラシー1	1前	2								2
		情報リテラシー2	1後		2							2
		自然科学入門	1後		2		1	1				5
		社会科学入門	1後		2							6
		社会参画入門	1前	2			3	5	4	2		
		社会参画実習	1後	1			3	5	4	2		
		人間力概論	1前	2			1					3
		産学一致の勧め	2前	2								5
		英語1	1前	2								2
		英語2	1後		2							2
		英語3	2前		2							2
		第二外国語（韓国語）	2前		2							1
		第二外国語（中国語）	2前		2							1
		コミュニケーション演習	1後		2							1
		文章表現	1後		2							2
		データサイエンス入門	1前	1								1
		データサイエンス・AI基礎	2前		2							1
		データ分析と社会課題解決	2後		2		1					2
		大分学・大分楽	1前	2								2
		健康の科学	1前		2							3
		スポーツサイエンス	1後		2							6
		人文科学への誘い	2前		2							2
		ジェネリックスキル養成1	1前休		1							2
		ジェネリックスキル養成2	1後休		1							3
		小計（27科目）	－	14	36	0	6	5	4	2	0	32
専門教育科目	コース共通	解剖学	1前	2			1					
		生理学	1前	2			1					
		生化学	1後	1			1					
		病理学1	1後	1			1					
		病理学2	2前		1		1					
		微生物学	1後		1		1					
		分子生物学	2前		1		1					
		免疫学	2前		1		1					
		医学概論	1前	1			2					
		薬理学	1後	1								1
		公衆衛生学	2後	1			2					1
		デジタル医療の基礎	1後	1			2	1	3			
		チーム医療概論	3前	1			2	2	1			1
		保健医療福祉論	3後		1							3
		医療安全論	3後	1			1			1		
		医療統計学1	3前		1		1					
		医療統計学2	3後		1		1				1	
		チーム協働と課題解決	3後	1			2	1	2			
		保健医療と経営	4前	1			1		1			3
		保健医療と工学	4前	1			1		1			7
		卒業研究	4通	4			11	8	3			
		小計（21科目）	－	19	7	0	12	8	4	1	1	15
	診療放射線学	臨床画像解剖学	2後		2		1	1	1			
		基礎医学大要	4前		2		4					
		放射線基礎科学	1後		2		2					
		放射線基礎工学	1前		2		1		1			
		医用工学	1後		2		1		1			
		放射線物理学	2前		2		1					
		放射化学	2前		2		1				1	
		放射線生物学・疫学	2前		2		1					
		放射線計測学	2前		2		2			1	1	
		理工学実験	2後		2		1	1	2	1	2	
		医療倫理学	3前		1		1				1	
		放射線撮影学1	1後		2		1		1			
		放射線撮影学2	2前		2		1		1			

【令和６年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養教育科目		力学リテラシー	1前後		2							4
		生物リテラシー	1前		2			1				
		化学リテラシー	1後		2							1
		情報リテラシー1	1前後	2								3
		情報リテラシー2	1後		2							2
		自然科学入門	1後		2		1	1				5
		社会科学入門	1後		2							3
		社会参画入門	1前	2			3	5	3	2		
		社会参画実習	1後	1			3	5	3	2		
		人間力概論	1前	2			1					3
		産学一致の勧め	2前	2								6
		英語1	1前	2								5
		英語2	1後		2							5
		英語3	2前		2							6
		第二外国語（韓国語）	2前		2							1
		第二外国語（中国語）	2前		2							1
		海外文化体験	2前後休		1							1
		コミュニケーション演習	1後		2							2
		文章表現	1後		2							1
		データサイエンス入門	1前	1								2
		データサイエンス・AI基礎	2前		2							2
		データ分析と社会課題解決	2後		2		1					3
		大分学・大分楽	1前	2								5
		健康の科学	1前		2							3
		スポーツサイエンス	1後		2							5
		人文科学への誘い	2前		2							3
		ジェネリックスキル養成1	1前休		1							2
		ジェネリックスキル養成2	1後休		1							3
		小計（28科目）	－	14	37	0	6	5	3	2	0	41
専門教育科目	コース共通	解剖学	1前	2			1					
		生理学	1前	2			1					
		生化学	1後	1			1					
		病理学1	1後	1			1					
		病理学2	2前		1		1					
		微生物学	1後		1		1					
		分子生物学	2前		1		1					
		免疫学	2前		1		1					
		医学概論	1前	1			2					
		薬理学	1後	1								1
		公衆衛生学	2後	1			2					1
		デジタル医療の基礎	1後	1			2	1	3			
		チーム医療概論	3前	1			2	2	1			1
		保健医療福祉論	3後		1							3
		医療安全論	3後	1			1			1		
		医療統計学1	3前		1		1					
		医療統計学2	3後		1		1				1	
		チーム協働と課題解決	3後	1			2	1	1	1		
		保健医療と経営	4前	1			1		1			3
		保健医療と工学	4前	1			1		1			7
		卒業研究	4通	4			11	8	3			
		小計（21科目）	－	19	7	0	12	8	3	2	1	15
	診療放射線学	臨床画像解剖学	2後		2		1	1	1			
		基礎医学大要	4前		2		4					
		放射線基礎科学	1後		2		2					
		放射線基礎工学	1後		2		1		1			
		医用工学	1後		2		1		1			
		放射線物理学	2前		2		1					
		放射化学	2前		2		1				1	
		放射線生物学・疫学	2前		2		1					
		放射線計測学	2前		2		2			1	0	
		理工学実験	2後		2		1	1	2	1	1	1
		医療倫理学	3前		1		1				1	
		放射線撮影学1	1後		2		1		1			
		放射線撮影学2	2前		2		1		1			

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	診療放射線学	臨床画像学	3前		2		2		1			
		診療画像機器学1	2前		2		1			1		
		診療画像機器学2	2後		2		1			1		1
		診療画像機器学実験	4前		2			1	2	2	2	
		診療画像検査学1	2後		2			1	1			
		診療画像検査学2	3前		2							1
		診療画像技術学実習1	2後		1		2	1	3	2	2	
		診療画像技術学実習2	3前		1		2	1	3	2	2	
		放射線医薬品学	2後		2		2				1	
		核医学検査技術学1	2後		2		2				1	
		核医学検査技術学2	3前		2		2				1	
		放射線腫瘍学	2後		1		1					
		放射線治療技術学1	2後		2		1					
		放射線治療技術学2	3前		2		1					
		放射線治療機器学	2前		2		1					
		医療画像工学	2前		2				1			
		医療画像情報学1	2後		2				1			
		医療画像情報学2	3前		2				1			
		放射線関係法規	2前		2		2					
		放射線安全管理学	3前		2		3					
		医療安全管理学	4前		1							1
		実践臨床画像論	3前		2		4	1	3	1	2	
		放射線医科学演習	4通		1		3	1	1	1	1	
		放射線治療技術演習	4通		2		1		2		1	
		核医学検査技術演習	4通		2		2		1	1	1	
		臨床実習(診療参加型)	3後		12		5	1	3	1	2	
		小計(39科目)	－	0	82	0	8	1	3	2	2	1
	臨床検査学	栄養学	2後		1		1					
		公衆衛生学演習	3前		1		1			1	2	
		関係法規(臨床検査)	4前		1			1				
		医療工学概論	2前		2				1		1	
		検査機器総論	2前		1			2		1	3	
		情報科学概論	3前		1				1			
		臨床病態学1	2前		1							1
		臨床病態学2	2後		2							1
		臨床検査医学	2後		2		2	1		1		
		臨床検査学演習	2前		2		3	2			2	
		血液検査学	2前		2			1				
		血液検査学実習	2後		2			2		1	1	
		病理組織検査学	2前		2		1					
		細胞診検査学	2後		1		1					
		病理組織細胞検査学実習	3前		2		1				2	
		一般検査学演習	2後		2					1	2	1
		寄生虫検査学実習	3前		1		1	1		1	1	1
		生体分析検査化学	2前		1			1				
		生体分析検査化学実習	2後		2			1		1	1	
		免疫検査学	2後		1		1					
		免疫検査学実習	3前		2		1	1		1	1	
		遺伝子・染色体検査学	2後		1			1				
		遺伝子・染色体検査学実習	3前		1			2			1	
		輸血・移植検査学	2後		2		1					
		輸血・移植検査学実習	3前		2		1	1		1	1	
		微生物検査学1	2前		2		1					
		微生物検査学2	2後		2		1					
		微生物検査学実習	3前		2		1	1		1	1	
		臨床生理検査学1	1後		1					1		1
		臨床生理検査学2	1後		1					1		1
		臨床生理検査学実習	2前		2			2		1	1	
		画像検査学	2後		2				1	1		
		画像検査学実習	3前		2			1	1	1	1	
		画像・AI解析検査学	4前		2				1	1	1	
		臨床検査総合演習	3前		2		3	2		1	3	1
		検査総合管理学	4前		2			1		1		
		医療安全管理学実習	4前		1			1		1		1
		臨床検査論1	4前		2		2	1				1
		臨床検査論2	4後		2		1	1		1		
		臨床検査論3	4後		1			1	1			1
		臨地実習前総合実習	3後		1		3	3		2	4	1
		臨地実習	3後		11		3	3		2	4	1
		小計(42科目)	－	0	76	0	5	4	3	2	4	6
	臨床医工学	基礎医学実習	2前		1		1	1			1	
		関係法規(医工学)	4前		1			1	1			
		応用数学	2前		2		1					

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	診療放射線学	臨床画像学	3前		2		2		1			
		診療画像機器学1	2前		2		1			1		
		診療画像機器学2	2後		2		1			1		1
		診療画像機器学実験	4前		2			1	2	2	2	
		診療画像検査学1	2後		2			1	1			
		診療画像検査学2	3前		2							1
		診療画像技術学実習1	2後		1		3	1	3	1	0	2
		診療画像技術学実習2	3前		1		3	1	3	1	2	
		放射線医薬品学	2後		2		1				0	
		核医学検査技術学1	2後		2		1				0	
		核医学検査技術学2	3前		2		1				1	
		放射線腫瘍学	2後		1		1					
		放射線治療技術学1	2後		2		1					
		放射線治療技術学2	3前		2		1					
		放射線治療機器学	2前		2		1					
		医療画像工学	2前		2				1			
		医療画像情報学1	2後		2				1			
		医療画像情報学2	3前		2				1			
		放射線関係法規	2前		2		1					
		放射線安全管理学	3前		2		3					
		医療安全管理学	4前		1							1
		実践臨床画像論	3前		2		4	1	3	1	2	
		放射線医科学演習	4通		1		3	1	1	1	1	
		放射線治療技術演習	4通		2		1		2		1	
		核医学検査技術演習	4通		2		1		1	1	1	
		臨床実習(診療参加型)	3後		12		5	1	3	1	2	
		小計(39科目)	－	0	82	0	8	1	3	2	2	2
	臨床検査学	栄養学	2後		1		1					
		公衆衛生学演習	3前		1		1			0	2	
		関係法規(臨床検査)	4前		1			1				
		医療工学概論	2前		2				1		0	
		検査機器総論	2前		1			2		1	0	
		情報科学概論	3前		1				1			
		臨床病態学1	2前		1							1
		臨床病態学2	2後		2							1
		臨床検査医学	2後		2		2	1		1		
		臨床検査学演習	2前		2		3	2			0	
		血液検査学	2前		2			1				
		血液検査学実習	2後		2			2		0	0	
		病理組織検査学	2前		2		1					
		細胞診検査学	2後		1		1					
		病理組織細胞検査学実習	3前		2		1				2	
		一般検査学演習	2後		2					0	0	1
		寄生虫検査学実習	3前		1		1	1		0	1	1
		生体分析検査化学	2前		1			1				
		生体分析検査化学実習	2後		2			1		0	0	
		免疫検査学	2後		1		1					
		免疫検査学実習	3前		2		1	1		0	1	
		遺伝子・染色体検査学	2後		1			1				
		遺伝子・染色体検査学実習	3前		1			2			1	
		輸血・移植検査学	2後		2		1					
		輸血・移植検査学実習	3前		2		1	1		0	1	
		微生物検査学1	2前		2		1					
		微生物検査学2	2後		2		1					
		微生物検査学実習	3前		2		1	1		0	1	
		臨床生理検査学1	1後		1					1		1
		臨床生理検査学2	1後		1					1		1
		臨床生理検査学実習	2前		2			2		1	0	
		画像検査学	2後		2				1	1		
		画像検査学実習	3前		2			1	1	1	1	
		画像・AI解析検査学	4前		2				1	1	1	
		臨床検査総合演習	3前		2		3	2		1	3	1
		検査総合管理学	4前		2			1		0		
		医療安全管理学実習	4前		1			1		0		1
		臨床検査論1	4前		2		2	1				1
		臨床検査論2	4後		2		1	1		1		
		臨床検査論3	4後		1			1	1			1
		臨地実習前総合実習	3後		1		3	3		1	4	1
		臨地実習	3後		11		3	3		1	4	1
		小計(42科目)	－	0	76	0	5	4	3	1	4	6
	臨床医工学	基礎医学実習	2前		1		1	1			0	
		関係法規(医工学)	4前		1			1	0	1		
		応用数学	2前		2		1					

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	臨床医工学	医用電気工学総論	2後		2		1					
		医用電気工学各論	3前		2		1					
		医用電気工学実習	3後		1			1			1	
		医用電子工学総論	2後		2		1					
		医用電子工学各論	3前		2		1					
		医用電子工学実習	3後		1			1			1	
		医用機械工学	3前		2			1				
		医用計測工学	3後		2		1					
		医療情報処理工学	2後		2			1				
		医用システム工学	3前		2			1				
		システム・情報処理実習	3後		1			1			1	
		データサイエンス概論	3後		2			1				
		医用工学概論	2前		1		1					
		生体物性工学	2後		2			1				
		医用材料工学	3前		2			1				
		生体計測工学	3後		2			1				
		医用機器学概論	2前		2			1				
		医用機器学実習	2後		1			2			1	
		医用治療機器学	2前		2			1				
		生体計測装置学	2後		2			1				
		臨床支援技術学	2前		2		1					
		臨床支援技術学実習	2後		1			1	1		1	1
		循環制御治療学	3前		2		1					
		人工呼吸療法学	3前		2		1	1	1			
		血液浄化療法学	3前		2			2				
		循環制御治療学実習	3通		2		1				1	1
		人工呼吸療法学実習	3通		2			1	1		1	
		血液浄化療法学実習	3通		2			2	1		1	
		医療機器安全管理学	2後		2			1				
		医用治療機器学実習	2後		1			2	1		1	
		生体計測装置学実習	2後		1			2	1		1	
		医療システムマネジメント論	3後		2		1	2				
		生命科学概論	2後		1		1					
		臨床医学英語	3前		1		1					
		救急・麻酔・集中治療医学	3後		1		1					
		臨床医学総論（内科系）	3前		2		1					
		臨床医学総論（外科系）	3後		2		1					
		人工臓器学	4前		2		1					
		医工学治療論	4後		2		1					
		レギュラトリーサイエンス論	4後		2		1					
		臨床実習	4前		7		1	2	1		5	1
		小計（44科目）	－	0	80	0	4	4	1	0	5	1
合計（173科目）			－	33	281	0	12	8	4	3	11	48

卒業要件及び履修方法

○卒業要件
本学に4年以上在学し、所定の単位を修得した者には、所定の学位を授ける。
○履修方法
＜診療放射線学コース＞
教養教育科目から22単位（うち必修14単位）以上、専門教育科目のコース共通から必修19単位及び「医療統計学1」1単位、診療放射線学より必修82単位、合計124単位以上を修得すること。
＜臨床検査学コース＞
教養教育科目から22単位（うち必修14単位）以上、専門教育科目のコース共通から必修19単位及び「病理学2」「微生物学」「分子生物学」「免疫学」「保健医療福祉論」「医療統計学1・2」計7単位、臨床検査学から必修76単位、合計124単位以上を修得すること。
＜臨床医工学コース＞
教養教育科目から22単位（うち必修14単位）以上、専門教育科目のコース共通から必修19単位及び「分子生物学」「免疫学」「保健医療福祉論」計3単位、臨床医工学から必修80単位、合計124単位以上を修得すること。
（履修科目の登録の上限：年間48単位（半期24単位）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	臨床医工学	医用電気工学総論	2後		2		1					
		医用電気工学各論	3前		2		1					
		医用電気工学実習	3後		1			1			1	
		医用電子工学総論	2後		2		1					
		医用電子工学各論	3前		2		1					
		医用電子工学実習	3後		1			1			1	
		医用機械工学	3前		2			1				
		医用計測工学	3後		2		1					
		医療情報処理工学	2後		2			1				
		医用システム工学	3前		2			1				
		システム・情報処理実習	3後		1			1			1	
		データサイエンス概論	3後		2			1				
		医用工学概論	2前		1		1					
		生体物性工学	2後		2			1				
		医用材料工学	3前		2			1				
		生体計測工学	3後		2			1				
		医用機器学概論	2前		2			1				
		医用機器学実習	2後		1			2		1	0	
		医用治療機器学	2前		2			1				
		生体計測装置学	2後		2			1				
		臨床支援技術学	2前		2		1					
		臨床支援技術学実習	2後		1			1	0	1	0	1
		循環制御治療学	3前		2		1					
		人工呼吸療法学	3前		2		1	1	0	1		
		血液浄化療法学	3前		2			2				
		循環制御治療学実習	3通		2		1			1	1	1
		人工呼吸療法学実習	3通		2			1	0	1	1	
		血液浄化療法学実習	3通		2			2	0	1	1	
		医療機器安全管理学	2後		2			1				
		医用治療機器学実習	2後		1			2	0	1	0	
		生体計測装置学実習	2後		1			2	0	1	0	
		医療システムマネジメント論	3後		2		1	2				
		生命科学概論	2後		1		1					
		臨床医学英語	3前		1		1					
		救急・麻酔・集中治療医学	3後		1		1					
		臨床医学総論（内科系）	3前		2		1					
		臨床医学総論（外科系）	3後		2		1					
		人工臓器学	4前		2		1					
		医工学治療論	4後		2		1					
		レギュラトリーサイエンス論	4後		2		1					
		臨床実習	4前		7		1	2	0	1	5	1
		小計（44科目）	－	0	80	0	4	4	0	1	5	1
合計（174科目）			－	33	282	0	12	8	3	3	11	58

卒業要件及び履修方法

○卒業要件
本学に4年以上在学し、所定の単位を修得した者には、所定の学位を授ける。
○履修方法
＜診療放射線学コース＞
教養教育科目から22単位（うち必修14単位）以上、専門教育科目のコース共通から必修19単位及び「医療統計学1」1単位、診療放射線学より必修82単位、合計124単位以上を修得すること。
＜臨床検査学コース＞
教養教育科目から22単位（うち必修14単位）以上、専門教育科目のコース共通から必修19単位及び「病理学2」「微生物学」「分子生物学」「免疫学」「保健医療福祉論」「医療統計学1・2」計7単位、臨床検査学から必修76単位、合計124単位以上を修得すること。
＜臨床医工学コース＞
教養教育科目から22単位（うち必修14単位）以上、専門教育科目のコース共通から必修19単位及び「分子生物学」「免疫学」「保健医療福祉論」計3単位、臨床医工学から必修80単位、合計124単位以上を修得すること。
（履修科目の登録の上限：年間48単位（半期24単位）

【令和５年度】

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
教養教育科目		力学リテラシー	1前後		2							4
		生物リテラシー	1前		2			1				
		化学リテラシー	1後		2							1
		情報リテラシー1	1前後	2								3
		情報リテラシー2	1後		2							2
		自然科学入門	1後		2		1	1				5
		社会科学入門	1後		2							3
		社会参画入門	1前	2			3	5	4	2		
		社会参画実習	1後	1			3	5	4	2		
		人間力概論	1前	2			1					3
		産学一致の勧め	2前	2								5
		英語1	1前	2								5
		英語2	1後		2							5
		英語3	2前		2							2
		第二外国語(韓国語)	2前		2							1
		第二外国語(中国語)	2前		2							1
		コミュニケーション演習	1後		2							2
		文章表現	1後		2							2
		データサイエンス入門	1前	1								2
		データサイエンス・AI基礎	2前		2							1
		データ分析と社会課題解決	2後		2		1					2
		大分学・大分楽	1前	2								3
		健康の科学	1前		2							3
		スポーツサイエンス	1後		2							5
		人文科学への誘い	2前		2							2
		ジェネリックスキル養成1	1前休		1							2
		ジェネリックスキル養成2	1後休		1							3
		小計(27科目)	－	14	36	0	6	5	4	2	0	38
専門教育科目	コース共通	解剖学	1前	2			1					
		生理学	1前	2			1					
		生化学	1後	1			1					
		病理学1	1後	1			1					
		病理学2	2前		1		1					
		微生物学	1後		1		1					
		分子生物学	2前		1		1					
		免疫学	2前		1		1					
		医学概論	1前	1			2					
		薬理学	1後	1								1
		公衆衛生学	2後	1			2					1
		デジタル医療の基礎	1後	1			2	1	3			
		チーム医療概論	3前	1			2	2	1			1
		保健医療福祉論	3後		1							3
		医療安全論	3後	1			1			1		
		医療統計学1	3前		1		1					
		医療統計学2	3後		1		1				1	
		チーム協働と課題解決	3後	1			2	1	2			
		保健医療と経営	4前	1			1		1			3
		保健医療と工学	4前	1			1		1			7
		卒業研究	4通	4			10	8	3			
		小計(21科目)	－	19	7	0	11	8	4	1	1	15
	診療放射線学	臨床画像解剖学	2後		2		1	1	1			
		基礎医学大要	4前		2		4					
		放射線基礎科学	1後		2		2					
		放射線基礎工学	1後		2		1		1			
		医用工学	1後		2		1		1			
		放射線物理学	2前		2		1					
		放射化学	2前		2		0				1	
		放射線生物学・疫学	2前		2		1					
		放射線計測学	2前		2		2			1	1	
		理工学実験	2後		2		1	1	2	1	2	
		医療倫理学	3前		1		1				1	
		放射線撮影学1	1後		2		1		1			
		放射線撮影学2	2前		2		1		1			

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	診療放射線学	臨床画像学	3前		2		2		1			
		診療画像機器学1	2前		2		1			1		
		診療画像機器学2	2後		2		1			1		1
		診療画像機器学実験	4前		2			1	2	2	2	
		診療画像検査学1	2後		2			1	1			
		診療画像検査学2	3前		2							1
		診療画像技術学実習1	2後		1		2	1	3	1	2	
		診療画像技術学実習2	3前		1		2	1	3	1	2	
		放射線医薬品学	2後		2		1				1	
		核医学検査技術学1	2後		2		1				1	
		核医学検査技術学2	3前		2		1				1	
		放射線腫瘍学	2後		1		1					
		放射線治療技術学1	2後		2		1					
		放射線治療技術学2	3前		2		1					
		放射線治療機器学	2前		2		1					
		医療画像工学	2前		2				1			
		医療画像情報学1	2後		2				1			
		医療画像情報学2	3前		2				1			
		放射線関係法規	2前		2		2					
		放射線安全管理学	3前		2		2					
		医療安全管理学	4前		1							1
		実践臨床画像論	3前		2		3	1	3	1	2	
		放射線医科学演習	4通		1		3	1	1	1	1	
		放射線治療技術演習	4通		2		1		2		1	
		核医学検査技術演習	4通		2		1		1	1	1	
		臨床実習(診療参加型)	3後		12		4	1	3	1	2	
		小計(39科目)	－	0	82	0	7	1	3	2	2	1
	臨床検査学	栄養学	2後		1		1					
		公衆衛生学演習	3前		1		1			1	2	
		関係法規(臨床検査)	4前		1			1				
		医療工学概論	2前		2				1		1	
		検査機器総論	2前		1			2		1	3	
		情報科学概論	3前		1				1			
		臨床病態学1	2前		1							1
		臨床病態学2	2後		2							1
		臨床検査医学	2後		2		2	1		1		
		臨床検査学演習	2前		2		3	2			2	
		血液検査学	2前		2			1				
		血液検査学実習	2後		2			2		1	1	
		病理組織検査学	2前		2		1					
		細胞診検査学	2後		1		1					
		病理組織細胞検査学実習	3前		2		1				2	
		一般検査学演習	2後		2					1	2	1
		寄生虫検査学実習	3前		1		1	1		1	1	1
		生体分析検査化学	2前		1			1				
		生体分析検査化学実習	2後		2			1		1	1	
		免疫検査学	2後		1		1					
		免疫検査学実習	3前		2		1	1		1	1	
		遺伝子・染色体検査学	2後		1			1				
		遺伝子・染色体検査学実習	3前		1			2			1	
		輸血・移植検査学	2後		2		1					
		輸血・移植検査学実習	3前		2		1	1		1	1	
		微生物検査学1	2前		2		1					
		微生物検査学2	2後		2		1					
		微生物検査学実習	3前		2		1	1		1	1	
		臨床生理検査学1	1後		1					1		1
		臨床生理検査学2	1後		1					1		1
		臨床生理検査学実習	2前		2			2		1	1	
		画像検査学	2後		2				1	1		
		画像検査学実習	3前		2			1	1	1	1	
		画像・AI解析検査学	4前		2				1	1	1	
		臨床検査総合演習	3前		2		3	2		1	3	1
		検査総合管理学	4前		2			1		1		
		医療安全管理学実習	4前		1			1		1		1
		臨床検査論1	4前		2		2	1				1
		臨床検査論2	4後		2		1	1		1		
		臨床検査論3	4後		1			1	1			1
		臨地実習前総合実習	3後		1		3	3		2	4	1
		臨地実習	3後		11		3	3		2	4	1
		小計(42科目)	－	0	76	0	5	4	3	2	4	6
	臨床医工学	基礎医学実習	2前		1		1	1			1	
		関係法規(医工学)	4前		1			1	1			
		応用数学	2前		2		1					

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	臨床医工学	医用電気工学総論	2後		2		1					
		医用電気工学各論	3前		2		1					
		医用電気工学実習	3後		1			1			1	
		医用電子工学総論	2後		2		1					
		医用電子工学各論	3前		2		1					
		医用電子工学実習	3後		1			1			1	
		医用機械工学	3前		2			1				
		医用計測工学	3後		2		1					
		医療情報処理工学	2後		2			1				
		医用システム工学	3前		2			1				
		システム・情報処理実習	3後		1			1			1	
		データサイエンス概論	3後		2			1				
		医用工学概論	2前		1		1					
		生体物性工学	2後		2			1				
		医用材料工学	3前		2			1				
		生体計測工学	3後		2			1				
		医用機器学概論	2前		2			1				
		医用機器学実習	2後		1			2			1	
		医用治療機器学	2前		2			1				
		生体計測装置学	2後		2			1				
		臨床支援技術学	2前		2		1					
		臨床支援技術学実習	2後		1			1	1		1	1
		循環制御治療学	3前		2		1					
		人工呼吸療法学	3前		2		1	1	1			
		血液浄化療法学	3前		2			2				
		循環制御治療学実習	3通		2		1				1	1
		人工呼吸療法学実習	3通		2			1	1		1	
		血液浄化療法学実習	3通		2			2	1		1	
		医療機器安全管理学	2後		2			1				
		医用治療機器学実習	2後		1			2	1		1	
		生体計測装置学実習	2後		1			2	1		1	
		医療システムマネジメント論	3後		2		1	2				
		生命科学概論	2後		1		1					
		臨床医学英語	3前		1		1					
		救急・麻酔・集中治療医学	3後		1		1					
		臨床医学総論（内科系）	3前		2		1					
		臨床医学総論（外科系）	3後		2		1					
		人工臓器学	4前		2		1					
		医工学治療論	4後		2		1					
		レギュラトリーサイエンス論	4後		2		1					
		臨床実習	4前		7		1	2	1		5	1
		小計（44科目）	－	0	80	0	4	4	1	0	5	1
合計（173科目）			－	33	281	0	11	8	4	3	11	54

卒業要件及び履修方法

○卒業要件
本学に4年以上在学し、所定の単位を修得した者には、所定の学位を授ける。
○履修方法
＜診療放射線学コース＞
教養教育科目から22単位（うち必修14単位）以上、専門教育科目のコース共通から必修19単位及び「医療統計学1」1単位、診療放射線学より必修82単位、合計124単位以上を修得すること。
＜臨床検査学コース＞
教養教育科目から22単位（うち必修14単位）以上、専門教育科目のコース共通から必修19単位及び「病理学2」「微生物学」「分子生物学」「免疫学」「保健医療福祉論」「医療統計学1・2」計7単位、臨床検査学から必修76単位、合計124単位以上を修得すること。
＜臨床医工学コース＞
教養教育科目から22単位（うち必修14単位）以上、専門教育科目のコース共通から必修19単位及び「分子生物学」「免疫学」「保健医療福祉論」計3単位、臨床医工学から必修80単位、合計124単位以上を修得すること。
（履修科目の登録の上限：年間48単位（半期24単位）

（注）
- 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
- 不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に（新）又は（旧）と追記してください。
（例：記載順）【認可時又は届出時】→【令和６年度】（新）→【令和５年度】（新）→【令和４年度】→【令和３年度】→【令和６年度】（旧）→【令和５年度】（旧）

（1）－②授業科目表に関する変更内容

【令和５年度】

・理科教育の充実の観点から、「力学リテラシー」の配当年次を「１前」から「１前後」に変更。担当教員数を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担4」に変更。
・情報教育の充実の観点から、「情報リテラシー1」の配当年次を「１前」から「１前後」に変更。担当教員数を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」へ変更。
・「社会科学入門」の担当教員数を担当予定の兼担教員の退職により「兼任・兼担6」から「兼任・兼担3」へ変更。
・「英語1」の担当教員数を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担5」へ変更。
・「英語2」の担当教員数を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担5」へ変更。
・「コミュニケーション演習」の担当教員数を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
・「データサイエンス入門」の担当教員数を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更。
・「大分学・大分楽」の担当教員数を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」へ変更。
・「スポーツサイエンス」の担当教員数を「兼任・兼担6」から「兼任・兼担5」へ変更。
・伊藤茂樹教授の就任辞退により担当教員数を下記のとおり変更。※開講する年度までに教員を採用予定。
「卒業研究」を「教授11・准教授8・講師3」から「教授10・准教授8・講師3」へ変更。
「放射化学」を「教授1・助手1」から「教授0・助手1」へ変更。
「放射線医薬品学」を「教授2・助手1」から「教授1・助手1」へ変更。
「核医学検査技術学1」を「教授2・助手1」から「教授1・助手1」へ変更。
「核医学検査技術学2」を「教授2・助手1」から「教授1・助手1」へ変更。
「放射線安全管理学」を「教授3」から「教授2」へ変更。
「実践臨床画像論」を「教授4・准教授1・講師3・助教1・助手2」から「教授3・准教授1・講師3・助教1・助手2」へ変更。
「核医学検査技術演習」を「教授2・講師1・助教1・助手1」から「教授1・講師1・助教1・助手1」へ変更。
「臨床実習（診療参加型）」を「教授5・准教授1・講師3・助教1・助手2」から「教授4・准教授1・講師3・助教1・助手2」へ変更。
・各コースの専門科目の開始時期を１年次後期で統一するため、「放射線基礎工学」の配当年次を「１前」から「１後」に変更。

【令和６年度】

・「社会参画入門」の担当教員数を「教授3・准教授5・講師4・助教2」から「教授3・准教授5・講師3・助教2」へ変更
・「社会参画実習」の担当教員数を「教授3・准教授5・講師4・助教2」から「教授3・准教授5・講師3・助教2」へ変更
・「産学一致の勧め」の担当教員数を「兼任・兼担5」から「兼任・兼担6」へ変更
・「英語3」の担当教員数を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担6」へ変更
・「海外文化体験」を新規開講
・「文章表現」の担当教員数を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担1」へ変更
・「データサイエンス・AI基礎」の担当教員数を「兼任・兼担1」から「兼任・兼担2」へ変更
・「データ分析と社会課題解決」の担当教員数を「教授1・兼任・兼担2」から「教授1・兼任・兼担3」へ変更
・「大分学・大分楽」の担当教員数を「兼任・兼担3」から「兼任・兼担5」へ変更
・「人文科学への誘い」の担当教員数を「兼任・兼担2」から「兼任・兼担3」へ変更
・北村茂三教授の就任及び亀井修教授・野口敦司教授の担当科目変更により担当教員数を下記のとおり変更。
「卒業研究」を「教授10・准教授8・講師3」から「教授11・准教授8・講師3」へ変更。
「放射化学」を「教授0・助手1」から「教授1・助手1」へ変更。
「診療画像技術学実習1」を「教授2・准教授1・講師3・助教1・助手2・兼任・兼担0」から「教授3・准教授1・講師3・助教1・助手0・兼任・兼担2」へ変更。
「診療画像技術学実習2」を「教授2・准教授1・講師3・助教1・助手2」から「教授3・准教授1・講師3・助教1・助手2」へ変更。
「放射線関係法規」を「教授2」から「教授1」へ変更。
「放射線安全管理学」を「教授2」から「教授3」へ変更。
「実践臨床画像論」を「教授3・准教授1・講師3・助教1・助手2」から「教授4・准教授1・講師3・助教1・助手2」へ変更。
「臨床実習（診療参加型）」を「教授4・准教授1・講師3・助教1・助手2」から「教授5・准教授1・講師3・助教1・助手2」へ変更。
・姫野栄一講師の退任及び西村まどか助教の就任により担当教員数を下記のとおり変更。
「チーム協働と課題解決」を「教授2・准教授1・講師2・助教0」から「教授2・准教授1・講師1・助教1」へ変更。
「関係法規（医工学）」を「准教授1・講師1・助教0」から「准教授1・講師0・助教1」へ変更。
「医用機器学実習」を「准教授2・助教0・助手1」から「准教授2・助教1・助手0」へ変更。
「臨床支援技術学実習」を「准教授1・講師1・助教0・助手1・兼任・兼担1」から「准教授1・講師0・助教1・助手0・兼任・兼担1」へ変更。
「人工呼吸療法学」を「教授1・准教授1・講師1・助教0」から「教授1・准教授1・講師0・助教1」へ変更。
「循環制御治療学実習」を「教授1・助教0・助手1・兼任・兼担1」から「教授1・助教1・助手1・兼任・兼担1」へ変更。
「人工呼吸療法学実習」を「准教授1・講師1・助教0・助手1」から「准教授1・講師0・助教1・助手1」へ変更。
「血液浄化療法学実習」を「准教授2・講師1・助教0・助手1」から「准教授2・講師0・助教1・助手1」へ変更。
「医用治療機器学実習」を「准教授2・講師1・助教0・助手1」から「准教授2・講師0・助教1・助手0」へ変更。
「生体計測装置学実習」を「准教授2・講師1・助教0・助手1」から「准教授2・講師0・助教1・助手0」へ変更。
「臨床実習」を「教授1・准教授2・講師1・助教0・助手5・兼任・兼担1」から「教授1・准教授2・講師0・助教1・助手5・兼任・兼担1」へ変更。
・内山田健次助教の辞任により担当教員数を下記のとおり変更。※令和6年度中に専任教員を採用予定。
「公衆衛生学演習」を「教授1・助教1・助手2」から「教授1・助教0・助手2」へ変更。
「血液検査学実習」を「准教授2・助教1・助手1」から「准教授2・助教0・助手0」へ変更。
「一般検査学演習」を「助教1・助手2・兼任・兼担1」から「助教0・助手0・兼任・兼担1」へ変更。
「寄生虫検査学実習」を「教授1・准教授1・助教1・助手1・兼任兼担1」から「教授1・准教授1・助教0・助手1・兼任・兼担1」へ変更。
「生体分析検査化学実習」を「准教授1・助教1・助手1」から「准教授1・助教0・助手0」へ変更。
「免疫検査学実習」を「教授1・准教授1・助教1・助手1」から「教授1・准教授1・助教0・助手1」へ変更。
「輸血・移植検査学実習」を「教授1・准教授1・助教1・助手1」から「教授1・准教授1・助教0・助手1」へ変更。
「微生物検査学実習」を「教授1・准教授1・助教1・助手1」から「教授1・准教授1・助教0・助手1」へ変更。
「検査総合管理学」を「准教授1・助教1」から「准教授1・助教0」へ変更。
「医療安全管理学実習」を「准教授1・助教1・兼任・兼担1」から「准教授1・助教0・兼任・兼担1」へ変更。
「臨地実習前総合実習」を「教授3・准教授3・助教2・助手4・兼任・兼担1」から「教授3・准教授3・助教1・助手4・兼任・兼担1」へ変更。
「臨地実習」を「教授3・准教授3・助教2・助手4・兼任・兼担1」から「教授3・准教授3・助教1・助手4・兼任・兼担1」へ変更。
・「放射線計測学」の担当教員数を「教授2・助教1・助手1」から「教授2・助教1・助手0」へ変更。
・「理工学実験」の担当教員数を「教授1・准教授1・講師2・助教1・助手2・兼任・兼担0」から「教授1・准教授1・講師2・助教1・助手1・兼任・兼担1」へ変更。
・「放射線医薬品学」を「教授1・助手1」から「教授1・助手0」へ変更。
・「核医学検査技術学1」を「教授1・助手1」から「教授1・助手0」へ変更。
・「医療工学概論」を「講師1・助手1」から「講師1・助手0」へ変更。
・「検査機器総論」を「准教授2・助教1・助手3」から「准教授2・助教1・助手0」へ変更。
・「臨床検査学演習」を「教授3・准教授2・助手2」から「教授3・准教授2・助手0」へ変更。
・「臨床生理検査学実習」を「准教授2・助教1・助手1」から「准教授2・助教1・助手0」へ変更。
・「基礎医学実習」を「教授1・准教授1・助手1」を「教授1・准教授1・助手0」

（注）・　２（１）－① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。
・　指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ１つの枠内に記入してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
22 科目	151 科目	0 科目	173 科目	22 科目 [0]	152 科目 [1]	0 科目 [0]	174 科目 [1]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［ ］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）
・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６）「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{173} = \boxed{0}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	
	校舎敷地	271,254.21㎡ ~~267,587.87㎡~~	34,766.0㎡	0.0㎡	306,020.21㎡ ~~302,353.87㎡~~	日本文理大学医療専門学校（必要面積740㎡）と共用（収容定員：480人）（令和5年4月学生募集停止） 借用面積:3666.34㎡ 借用期間:30年（5） 城原土地収用に伴う地籍面積減(-0.4㎡)(6)
	運動場用地	32,241.00㎡	0.0㎡	0.0㎡	32,241.00㎡	
	小　　計	303,495.21㎡ ~~299,828.87㎡~~	34,766.0㎡	0.0㎡	338,261.21㎡ ~~334,594.87㎡~~	
	そ　の　他	119,708.73㎡ ~~119,709.13㎡~~	0.0㎡	0.0㎡	119,708.73㎡ ~~119,709.13㎡~~	
	合　　計	423,203.94㎡ ~~423,204.34㎡~~	34,766.0㎡	0.0㎡	457,969.94㎡ ~~457,970.34㎡~~	
(2) 校　　舎		専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	日本文理大学医療専門学校（必要面積740㎡）と共用（収容定員：480人）（令和5年4月学生募集停止） 7号館、10号館財産目録面積修正(6) 医療PC123.2㎡置換(6)
		71,710.70㎡ ~~71,831.69㎡~~ ~~71,717.77㎡~~	0.00㎡	0.0㎡	71,710.70㎡ ~~71,831.69㎡~~ ~~71,717.77㎡~~	
		61,558.29㎡ （~~61,435.09㎡~~）	（0.00㎡）	4,825.25㎡ （~~4,948.45㎡~~）	66,383.54㎡ （~~66,383.54㎡~~）	

(3) 教　室　等	講　義　室	演　習　室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	43室	19室	153室	17室 （補助職員1人）	1室 （補助職員0人）	大学全体

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	備考
	保健医療学部	27　室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図　書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標　本 点	備考
	保健医療学部	3,056〔106〕 ~~2,932〔105〕~~ (3,056〔106〕) ~~(2,932〔105〕)~~	43〔1〕 (43〔1〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	139 (139)	3,113 (2,170)	31 (0)	図書購入費には電子ジャーナル･データベースを含む 分数冊のカウントによる冊数変更（5）
	計	3,056〔106〕 ~~2,932〔105〕~~ (3,056〔106〕) ~~(2,932〔105〕)~~	43〔1〕 (43〔1〕)	0〔0〕 (0〔0〕)	139 (139)	3,113 (2,170)	31 (0)	

(6) 図　書　館	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	3,554.08㎡	567席 ~~571席~~	409,167冊 ~~402,639冊~~	大学全体 棚設置による変更（5）

(7) 体　育　館	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要	備考
	2,191.45㎡	武道場、トレーニング室	大学全体

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要

経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度
	教員１人当り研究費等	225千円	225千円	図書購入費	22,603千円	2,500千円	2,500千円
	共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	202,767千円	162,448千円	0千円

	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次	備考
学生１人当り納付金	1,400千円	1,490千円	1,490千円	1,490千円	－千円	－千円	診療放射線学コース
	1,400千円	1,410千円	1,410千円	1,410千円	－千円	－千円	臨床検査学コース
	1,400千円	1,410千円	1,410千円	1,410千円	－千円	－千円	臨床医工学コース
学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入　等						

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（６）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４　既設大学等の状況

大学の名称	日本文理大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率（控除後）	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度					
工学部	4	280	-	1100	－	0.85	－	－	昭和42	－				
機械電気工学科	4	60	-	240	学士（工学）	**0.70**	**－**	－	平成20	大分県大分市大字一木1727番地162				
建築学科	4	80	-	300	学士（工学）	0.99	－	令和4	平成19	同上	令和4年度から入学定員変更（60→80）			
航空宇宙工学科	4	40	-	220	学士（工学）	**0.45**	**－**	－	平成14	同上	令和6年度から入学定員変更（60→40）			
情報メディア学科	4	100	-	340	学士（工学）	1.08	1.07	－	平成14	同上	令和6年度から入学定員変更（80→100）			
経営経済学部	4	300	-	1200	－	0.89	－	－	平成15	－				
経営経済学科	4	300	-	1200	学士（経営経済学）	0.89	－	－	平成15	大分県大分市大字一木1727番地162				
保健医療学部 保健医療学科	4	160	-	320	－	0.81	－	令和5	令和5	－				
診療放射線学コース	4	80	-	160	学士（保健医療学）	0.98	－	令和5	令和5	大分県大分市大字一木1727番地162				
臨床検査学コース	4	50	-	100	学士（保健医療学）	0.66	**－**	令和5	令和5	同上				
臨床医工学コース	4	30	-	60	学士（保健医療学）	0.61	**－**	令和5	令和5	同上				
大学全体	4	740	-	2620	－	－	－	－	－	－				

（注）・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等
（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、
「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和７年度開設用）Ⅳ.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」
第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の**学科**については、**必ず太字にしてください**。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載の
コメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5　教員組織の状況

＜保健医療学部＞

（1）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	村中　博幸 （61） ＜令和５年４月＞ 博士（医療工学）	人間力概論※ 医療安全論※ チーム協働と課題解決 卒業研究 基礎医学大要※ 放射線撮影学1※ 臨床画像学※ 診療画像機器学2※ 実践臨床画像論※ 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 放射線医科学演習※ 臨床実習（診療参加型）
専	教授	相川　久幸 （68） ＜令和５年４月＞ 博士（医学）	医学概論※ チーム医療概論※ 臨床画像解剖学※ 基礎医学大要※ 臨床画像学※ 放射線腫瘍学 実践臨床画像論※ 救急・麻酔・集中治療医学 臨床医学総論（内科系） 臨床医学総論（外科系）
専	教授	伊藤　茂樹 （63） ＜令和６年４月＞ 博士（理学）	卒業研究 放射化学 放射線医薬品学※ 核医学検査技術学1※ 核医学検査技術学2※ 放射線安全管理学※ 実践臨床画像論※ 核医学検査技術演習※ 臨床実習（診療参加型）
専	教授	岩﨑　香子 （52） ＜令和５年４月＞ 博士（学術）	解剖学 生理学 生化学 分子生物学 公衆衛生学※ 卒業研究 基礎医学大要※ 理工学実験 放射線医科学演習※ 栄養学

【令和５年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	村中　博幸 （61） ＜令和５年４月＞ 博士（医療工学）	人間力概論※ 医療安全論※ チーム協働と課題解決 卒業研究 基礎医学大要※ 放射線撮影学1※ 臨床画像学※ 診療画像機器学2※ 実践臨床画像論※ 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 放射線医科学演習※ 臨床実習（診療参加型）
専	教授	相川　久幸 （69） ＜令和５年４月＞ 博士（医学）	医学概論※ チーム医療概論※ 臨床画像解剖学※ 基礎医学大要※ 臨床画像学※ 放射線腫瘍学 実践臨床画像論※ 救急・麻酔・集中治療医学 臨床医学総論（内科系） 臨床医学総論（外科系）
専	教授	岩﨑　香子 （53） ＜令和５年４月＞ 博士（学術）	解剖学 生理学 生化学 分子生物学 公衆衛生学※ 卒業研究 基礎医学大要※ 理工学実験 放射線医科学演習※ 栄養学

【令和６年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	村中　博幸 （62） ＜令和５年４月＞ 博士（医療工学）	人間力概論※ 医療安全論※ チーム協働と課題解決 卒業研究 基礎医学大要※ 放射線撮影学1※ 臨床画像学※ 診療画像機器学2※ 実践臨床画像論※ 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 放射線医科学演習※ 臨床実習（診療参加型）
専	教授	相川　久幸 （70） ＜令和５年４月＞ 博士（医学）	医学概論※ チーム医療概論※ 臨床画像解剖学※ 基礎医学大要※ 臨床画像学※ 放射線腫瘍学 実践臨床画像論※ 救急・麻酔・集中治療医学 臨床医学総論（内科系） 臨床医学総論（外科系）
専	教授	岩﨑　香子 （54） ＜令和５年４月＞ 博士（学術）	解剖学 生理学 生化学 分子生物学 公衆衛生学※ 卒業研究 基礎医学大要※ 理工学実験 放射線医科学演習※ 栄養学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	甲斐　倫明 （67） ＜令和５年４月＞ 工学博士	自然科学入門※ 公衆衛生学※ 医療統計学1 医療統計学2 保健医療と工学※ 卒業研究 放射線基礎科学※ 放射線物理学 放射線生物学・疫学 放射線計測学※ 放射線安全管理学※ 臨床実習（診療参加型） 公衆衛生学演習
専	教授	亀井　修 （68） ＜令和５年４月＞ 博士（健康科学）	医学概論※ チーム協働と課題解決 卒業研究 放射線基礎工学※ 放射線計測学※ 医療倫理学 放射線撮影学2※ 診療画像機器学1※ 放射線治療技術学1 放射線治療技術学2 放射線治療機器学 放射線関係法規※ 放射線治療技術演習※ 臨床実習（診療参加型）
専	教授	野口　敦司 （61） ＜令和５年４月＞ 博士（保健学）	社会参画入門 社会参画実習 チーム医療概論※ 保健医療と経営※ 卒業研究 基礎医学大要※ 放射線基礎科学※ 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 放射線医薬品学※ 核医学検査技術学1※ 核医学検査技術学2※ 放射線関係法規※ 放射線安全管理学※ 実践臨床画像論※ 放射線医科学演習※ 核医学検査技術演習※ 臨床実習（診療参加型）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	甲斐　倫明 （68） ＜令和５年４月＞ 工学博士	自然科学入門※ 公衆衛生学※ 医療統計学1 医療統計学2 保健医療と工学※ 卒業研究 放射線基礎科学※ 放射線物理学 放射線生物学・疫学 放射線計測学※ 放射線安全管理学※ 臨床実習（診療参加型） 公衆衛生学演習
専	教授	亀井　修 （68） ＜令和５年４月＞ 博士（健康科学）	医学概論※ チーム協働と課題解決 卒業研究 放射線基礎工学※ 放射線計測学※ 医療倫理学 放射線撮影学2※ 診療画像機器学1※ 放射線治療技術学1 放射線治療技術学2 放射線治療機器学 放射線関係法規※ 放射線治療技術演習※ 臨床実習（診療参加型）
専	教授	野口　敦司 （62） ＜令和５年４月＞ 博士（保健学）	社会参画入門 社会参画実習 チーム医療概論※ 保健医療と経営※ 卒業研究 基礎医学大要※ 放射線基礎科学※ 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 放射線医薬品学※ 核医学検査技術学1※ 核医学検査技術学2※ 放射線関係法規※ 放射線安全管理学※ 実践臨床画像論※ 放射線医科学演習※ 核医学検査技術演習※ 臨床実習（診療参加型）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	甲斐　倫明 （69） ＜令和５年４月＞ 工学博士	自然科学入門※ 公衆衛生学※ 医療統計学1 医療統計学2 保健医療と工学※ 卒業研究 放射線基礎科学※ 放射線物理学 放射線生物学・疫学 放射線計測学※ 放射線安全管理学※ 臨床実習（診療参加型） 公衆衛生学演習
専	教授	亀井　修 （69） ＜令和５年４月＞ 博士（健康科学）	医学概論※ 卒業研究 放射線基礎工学※ 放射線計測学※ 医療倫理学 診療画像機器学1※ 放射線治療技術学1 放射線治療技術学2 放射線治療機器学 **放射線関係法規** **放射線安全管理学※** 放射線治療技術演習※ 臨床実習（診療参加型）
専	教授	野口　敦司 （63） ＜令和５年４月＞ 博士（保健学）	卒業研究 **放射化学** 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 **放射線医薬品学** **核医学検査技術学1** **核医学検査技術学2** 放射線安全管理学※ 実践臨床画像論※ 放射線医科学演習※ 核医学検査技術演習※ 臨床実習（診療参加型）
専	**教授**	**北村　茂三** **（59）** **＜令和６年４月＞** **博士（医療工学）**	**社会参画入門** **社会参画実習** **チーム医療概論※** **チーム協働と課題解決** **保健医療と経営※** **卒業研究** **基礎医学大要※** **放射線基礎科学※** **放射線撮影学2※** **診療画像技術学実習1** **診療画像技術学実習2** **実践臨床画像論※** **臨床実習（診療参加型）**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	中野　忠男 （67） ＜令和５年４月＞ 博士（医学）	微生物学 卒業研究 臨床検査学演習※ 寄生虫検査学実習※ 微生物検査学1 微生物検査学2 微生物検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論1※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	教授	長濵　純二 （63） ＜令和５年４月＞ 博士（医学）	病理学1 病理学2 卒業研究 臨床検査医学※ 臨床検査学演習※ 病理組織検査学 細胞診検査学 病理組織細胞検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論1※ 臨地実習前総合実習 臨地実習 基礎医学実習
専	教授	松井　智浩 （50） ＜令和５年４月＞ 博士（保健学）	社会参画入門 社会参画実習 免疫学 卒業研究 臨床検査医学※ 臨床検査学演習※ 免疫検査学 免疫検査学実習 輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論2※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	教授	伊藤　英史 （52） ＜令和５年４月＞ 博士（医学）	データ分析と社会課題解決 デジタル医療の基礎※ 卒業研究 医用工学概論 臨床支援技術学 循環制御治療学 人工呼吸療法学※ 循環制御治療学実習 医療システムマネジメント論※ 生命科学概論 臨床医学英語 人工臓器学 医工学治療論 レギュラトリーサイエンス論 臨床実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	中野　忠男 （68） ＜令和５年４月＞ 博士（医学）	微生物学 卒業研究 臨床検査学演習※ 寄生虫検査学実習※ 微生物検査学1 微生物検査学2 微生物検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論1※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	教授	長濵　純二 （64） ＜令和５年４月＞ 博士（医学）	病理学1 病理学2 卒業研究 臨床検査医学※ 臨床検査学演習※ 病理組織検査学 細胞診検査学 病理組織細胞検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論1※ 臨地実習前総合実習 臨地実習 基礎医学実習
専	教授	松井　智浩 （51） ＜令和５年４月＞ 博士（保健学）	社会参画入門 社会参画実習 免疫学 卒業研究 臨床検査医学※ 臨床検査学演習※ 免疫検査学 免疫検査学実習 輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論2※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	教授	伊藤　英史 （52） ＜令和５年４月＞ 博士（医学）	データ分析と社会課題解決 デジタル医療の基礎※ 卒業研究 医用工学概論 臨床支援技術学 循環制御治療学 人工呼吸療法学※ 循環制御治療学実習 医療システムマネジメント論※ 生命科学概論 臨床医学英語 人工臓器学 医工学治療論 レギュラトリーサイエンス論 臨床実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	中野　忠男 （69） ＜令和５年４月＞ 博士（医学）	微生物学 卒業研究 臨床検査学演習※ 寄生虫検査学実習※ 微生物検査学1 微生物検査学2 微生物検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論1※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	教授	長濵　純二 （65） ＜令和５年４月＞ 博士（医学）	病理学1 病理学2 卒業研究 臨床検査医学※ 臨床検査学演習※ 病理組織検査学 細胞診検査学 病理組織細胞検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論1※ 臨地実習前総合実習 臨地実習 基礎医学実習
専	教授	松井　智浩 （52） ＜令和５年４月＞ 博士（保健学）	社会参画入門 社会参画実習 免疫学 卒業研究 臨床検査医学※ 臨床検査学演習※ 免疫検査学 免疫検査学実習 輸血・移植検査学 輸血・移植検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論2※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	教授	伊藤　英史 （53） ＜令和５年４月＞ 博士（医学）	データ分析と社会課題解決 デジタル医療の基礎※ 卒業研究 医用工学概論 臨床支援技術学 循環制御治療学 人工呼吸療法学※ 循環制御治療学実習 医療システムマネジメント論※ 生命科学概論 臨床医学英語 人工臓器学 医工学治療論 レギュラトリーサイエンス論 臨床実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松尾　孝美 （64） ＜令和５年４月＞ 工学博士	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ 卒業研究 医用工学※ 応用数学 医用電気工学総論 医用電気工学各論 医用電子工学総論 医用電子工学各論 医用計測工学
専	准教授	東　敏也 （63） ＜令和６年４月＞ 博士（保健学）	社会参画入門 社会参画実習 チーム医療概論※ 卒業研究 臨床画像解剖学※ 理工学実験 診療画像機器学実験 診療画像検査学1※ 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 実践臨床画像論※ 放射線医科学演習※ 臨床実習（診療参加型）
専	准教授	日下　雅友 （48） ＜令和５年４月＞ 博士（理学）	生物リテラシー 自然科学入門※ 社会参画入門 社会参画実習 卒業研究 臨床検査学演習※ 生体分析検査化学 生体分析検査化学実習 遺伝子・染色体検査学 遺伝子・染色体検査学実習 臨床生理検査学実習 画像検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論2※ 臨床検査論3※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	准教授	熊谷　貴 （48） ＜令和６年４月＞ 博士（医学）	社会参画入門 社会参画実習 卒業研究 検査機器総論※ 寄生虫検査学実習※ 遺伝子・染色体検査学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松尾　孝美 （65） ＜令和５年４月＞ 工学博士	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ 卒業研究 医用工学※ 応用数学 医用電気工学総論 医用電気工学各論 医用電子工学総論 医用電子工学各論 医用計測工学
専	准教授	東　敏也 （63） ＜令和６年４月＞ 博士（保健学）	社会参画入門 社会参画実習 チーム医療概論※ 卒業研究 臨床画像解剖学※ 理工学実験 診療画像機器学実験 診療画像検査学1※ 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 実践臨床画像論※ 放射線医科学演習※ 臨床実習（診療参加型）
専	准教授	日下　雅友 （49） ＜令和５年４月＞ 博士（理学）	生物リテラシー 自然科学入門※ 社会参画入門 社会参画実習 卒業研究 臨床検査学演習※ 生体分析検査化学 生体分析検査化学実習 遺伝子・染色体検査学 遺伝子・染色体検査学実習 臨床生理検査学実習 画像検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論2※ 臨床検査論3※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	准教授	熊谷　貴 （48） ＜令和６年４月＞ 博士（医学）	社会参画入門 社会参画実習 卒業研究 検査機器総論※ 寄生虫検査学実習※ 遺伝子・染色体検査学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松尾　孝美 （66） ＜令和５年４月＞ 工学博士	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ 卒業研究 医用工学※ 応用数学 医用電気工学総論 医用電気工学各論 医用電子工学総論 医用電子工学各論 医用計測工学
専	准教授	東　敏也 （64） ＜令和６年４月＞ 博士（保健学）	社会参画入門 社会参画実習 チーム医療概論※ 卒業研究 臨床画像解剖学※ 理工学実験 診療画像機器学実験 診療画像検査学1※ 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 実践臨床画像論※ 放射線医科学演習※ 臨床実習（診療参加型）
専	准教授	日下　雅友 （50） ＜令和５年４月＞ 博士（理学）	生物リテラシー 自然科学入門※ 社会参画入門 社会参画実習 卒業研究 臨床検査学演習※ 生体分析検査化学 生体分析検査化学実習 遺伝子・染色体検査学 遺伝子・染色体検査学実習 臨床生理検査学実習 画像検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論2※ 臨床検査論3※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	准教授	熊谷　貴 （49） ＜令和６年４月＞ 博士（医学）	社会参画入門 社会参画実習 卒業研究 検査機器総論※ 寄生虫検査学実習※ 遺伝子・染色体検査学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	政元　いずみ （59） ＜令和５年10月＞ 博士（医学）	チーム医療概論※ チーム協働と課題解決 卒業研究 検査機器総論※ 臨床検査医学※ 血液検査学実習 免疫検査学実習 輸血・移植検査学実習 臨床生理検査学実習 検査総合管理学※ 医療安全管理学実習※ 臨地実習前総合実習 臨地実習 基礎医学実習
専	准教授	山岡　源治 （65） ＜令和６年４月＞ 博士（医学）	卒業研究 関係法規（臨床検査） 臨床検査学演習※ 血液検査学 血液検査学実習 微生物検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論1※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	准教授	砂子澤　裕 （47） ＜令和５年４月＞ 修士（保健科学）※	社会参画入門 社会参画実習 卒業研究 関係法規（医工学）※ 生体計測工学 医用機器学概論 医用機器学実習 医用治療機器学 生体計測装置学 臨床支援技術学実習 人工呼吸療法学※ 血液浄化療法学※ 人工呼吸療法学実習 血液浄化療法学実習 生体計測装置学実習 臨床実習
専	准教授	小野寺　博和 （57） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	卒業研究 医用電気工学実習 医用電子工学実習 医用機械工学 生体物性工学 医用材料工学 医用機器学実習 血液浄化療法学※ 血液浄化療法学実習 医療機器安全管理学 医用治療機器学実習 医療システムマネジメント論※ 臨床実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	政元　いずみ （60） ＜令和５年10月＞ 博士（医学）	チーム医療概論※ チーム協働と課題解決 卒業研究 検査機器総論※ 臨床検査医学※ 血液検査学実習 免疫検査学実習 輸血・移植検査学実習 臨床生理検査学実習 検査総合管理学※ 医療安全管理学実習※ 臨地実習前総合実習 臨地実習 基礎医学実習
専	准教授	山岡　源治 （66） ＜令和６年４月＞ 博士（医学）	卒業研究 関係法規（臨床検査） 臨床検査学演習※ 血液検査学 血液検査学実習 微生物検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論1※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	准教授	砂子澤　裕 （48） ＜令和５年４月＞ 修士（保健科学）※	社会参画入門 社会参画実習 卒業研究 関係法規（医工学）※ 生体計測工学 医用機器学概論 医用機器学実習 医用治療機器学 生体計測装置学 臨床支援技術学実習 人工呼吸療法学※ 血液浄化療法学※ 人工呼吸療法学実習 血液浄化療法学実習 生体計測装置学実習 臨床実習
専	准教授	小野寺　博和 （58） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	卒業研究 医用電気工学実習 医用電子工学実習 医用機械工学 生体物性工学 医用材料工学 医用機器学実習 血液浄化療法学※ 血液浄化療法学実習 医療機器安全管理学 医用治療機器学実習 医療システムマネジメント論※ 臨床実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	政元　いずみ （61） ＜令和５年10月＞ 博士（医学）	チーム医療概論※ チーム協働と課題解決 卒業研究 検査機器総論※ 臨床検査医学※ 血液検査学実習 免疫検査学実習 輸血・移植検査学実習 臨床生理検査学実習 検査総合管理学※ 医療安全管理学実習※ 臨地実習前総合実習 臨地実習 基礎医学実習
専	准教授	山岡　源治 （67） ＜令和６年４月＞ 博士（医学）	卒業研究 関係法規（臨床検査） 臨床検査学演習※ 血液検査学 血液検査学実習 微生物検査学実習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論1※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	准教授	砂子澤　裕 （49） ＜令和５年４月＞ 修士（保健科学）※	社会参画入門 社会参画実習 卒業研究 関係法規（医工学）※ 生体計測工学 医用機器学概論 医用機器学実習 医用治療機器学 生体計測装置学 臨床支援技術学実習 人工呼吸療法学※ 血液浄化療法学※ 人工呼吸療法学実習 血液浄化療法学実習 生体計測装置学実習 臨床実習
専	准教授	小野寺　博和 （59） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	卒業研究 医用電気工学実習 医用電子工学実習 医用機械工学 生体物性工学 医用材料工学 医用機器学実習 血液浄化療法学※ 血液浄化療法学実習 医療機器安全管理学 医用治療機器学実習 医療システムマネジメント論※ 臨床実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	宮﨑　仁 （41） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ 卒業研究 医療情報処理工学 医用システム工学 システム・情報処理実習 データサイエンス概論 医用治療機器学実習 生体計測装置学実習 医療システムマネジメント論※
専	講師	青山　良介 （51） ＜令和５年４月＞ 修士（工学）	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ 保健医療と経営※ 卒業研究 放射線基礎工学※ 医用工学※ 理工学実験 診療画像機器学実験 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 実践臨床画像論※ 放射線治療技術演習※ 臨床実習（診療参加型） 医療工学概論 臨床検査論3※
専	講師	衛藤　路弘 （48） ＜令和５年４月＞ 修士（医科学）	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ チーム協働と課題解決 卒業研究 臨床画像解剖学※ 放射線撮影学1※ 放射線撮影学2※ 臨床画像学※ 診療画像検査学1※ 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 実践臨床画像論※ 放射線医科学演習※ 臨床実習（診療参加型） 画像検査学※ 画像検査学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	宮﨑　仁 （41） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ 卒業研究 医療情報処理工学 医用システム工学 システム・情報処理実習 データサイエンス概論 医用治療機器学実習 生体計測装置学実習 医療システムマネジメント論※
専	講師	青山　良介 （52） ＜令和５年４月＞ 修士（工学）	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ 保健医療と経営※ 卒業研究 放射線基礎工学※ 医用工学※ 理工学実験 診療画像機器学実験 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 実践臨床画像論※ 放射線治療技術演習※ 臨床実習（診療参加型） 医療工学概論 臨床検査論3※
専	講師	衛藤　路弘 （49） ＜令和５年４月＞ 修士（医科学）	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ チーム協働と課題解決 卒業研究 臨床画像解剖学※ 放射線撮影学1※ 放射線撮影学2※ 臨床画像学※ 診療画像検査学1※ 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 実践臨床画像論※ 放射線医科学演習※ 臨床実習（診療参加型） 画像検査学※ 画像検査学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	宮﨑　仁 （42） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ 卒業研究 医療情報処理工学 医用システム工学 システム・情報処理実習 データサイエンス概論 医用治療機器学実習 生体計測装置学実習 医療システムマネジメント論※
専	講師	青山　良介 （53） ＜令和５年４月＞ 修士（工学）	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ 保健医療と経営※ 卒業研究 放射線基礎工学※ 医用工学※ 理工学実験 診療画像機器学実験 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 実践臨床画像論※ 放射線治療技術演習※ 臨床実習（診療参加型） 医療工学概論 臨床検査論3※
専	講師	衛藤　路弘 （50） ＜令和５年４月＞ 修士（医科学）	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ チーム協働と課題解決 卒業研究 臨床画像解剖学※ 放射線撮影学1※ 放射線撮影学2※ 臨床画像学※ 診療画像検査学1※ 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 実践臨床画像論※ 放射線医科学演習※ 臨床実習（診療参加型） 画像検査学※ 画像検査学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	原田　義富 （48） ＜令和６年４月＞ 博士（工学）	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ 保健医療と工学※ 卒業研究 理工学実験 診療画像機器学実験 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 医療画像工学 医療画像情報学1 医療画像情報学2 実践臨床画像論※ 放射線治療技術演習※ 核医学検査技術演習※ 臨床実習（診療参加型） 情報科学概論 画像・AI解析検査学※
兼任	講師	原田　義富 （48） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	デジタル医療の基礎※
専	講師	姫野　栄一 （50） ＜令和５年４月＞ 修士（医科学）	社会参画入門 社会参画実習 チーム医療概論※ チーム協働と課題解決 関係法規（医工学）※ 臨床支援技術学実習 人工呼吸療法学※ 人工呼吸療法学実習 血液浄化療法学実習 医用治療機器学実習 生体計測装置学実習 臨床実習
専	助教	野村　達八 （36） ＜令和６年４月＞ 修士（工学）	社会参画入門 社会参画実習 医療安全論※ 放射線計測学※ 理工学実験 診療画像機器学1※ 診療画像機器学2※ 診療画像機器学実験 実践臨床画像論※ 放射線医科学演習※ 核医学検査技術演習※ 臨床実習（診療参加型）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	原田　義富 （49） ＜令和６年４月＞ 博士（工学）	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ 保健医療と工学※ 卒業研究 理工学実験 診療画像機器学実験 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 医療画像工学 医療画像情報学1 医療画像情報学2 実践臨床画像論※ 放射線治療技術演習※ 核医学検査技術演習※ 臨床実習（診療参加型） 情報科学概論 画像・AI解析検査学※
兼任	講師	原田　義富 （49） ＜令和５年**7**月＞ 博士（工学）	**社会参画入門** **社会参画実習** デジタル医療の基礎※
専	講師	姫野　栄一 （51） ＜令和５年４月＞ 修士（医科学）	社会参画入門 社会参画実習 チーム医療概論※ チーム協働と課題解決 関係法規（医工学）※ 臨床支援技術学実習 人工呼吸療法学※ 人工呼吸療法学実習 血液浄化療法学実習 医用治療機器学実習 生体計測装置学実習 臨床実習
専	助教	野村　達八 （37） ＜令和６年４月＞ 修士（工学）	社会参画入門 社会参画実習 医療安全論※ 放射線計測学※ 理工学実験 診療画像機器学1※ 診療画像機器学2※ 診療画像機器学実験 実践臨床画像論※ 放射線医科学演習※ 核医学検査技術演習※ 臨床実習（診療参加型）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	原田　義富 （50） ＜令和６年４月＞ 博士（工学）	社会参画入門 社会参画実習 デジタル医療の基礎※ 保健医療と工学※ 卒業研究 理工学実験 診療画像機器学実験 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 医療画像工学 医療画像情報学1 医療画像情報学2 実践臨床画像論※ 放射線治療技術演習※ 核医学検査技術演習※ 臨床実習（診療参加型） 情報科学概論 画像・AI解析検査学※
専	助教	野村　達八 （38） ＜令和６年４月＞ 修士（工学）	社会参画入門 社会参画実習 医療安全論※ 放射線計測学※ 理工学実験 診療画像機器学1※ 診療画像機器学2※ 診療画像機器学実験 実践臨床画像論※ 放射線医科学演習※ 核医学検査技術演習※ 臨床実習（診療参加型）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	内山田　健次 （38） ＜令和５年４月＞ 修士（医科学）	社会参画入門 社会参画実習 公衆衛生学演習 血液検査学実習 一般検査学演習 寄生虫検査学実習※ 生体分析検査化学実習 免疫検査学実習 輸血・移植検査学実習 微生物検査学実習 検査総合管理学※ 医療安全管理学実習※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	助教	佐野　成雄 （62） ＜令和５年４月＞ 学士（経営情報学）	診療画像機器学実験 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 検査機器総論※ 臨床検査医学※ 臨床生理検査学1※ 臨床生理検査学2※ 臨床生理検査学実習 画像検査学※ 画像検査学実習 画像・AI解析検査学※ 臨床検査総合演習※ 臨床検査論2※ 臨地実習前総合実習 臨地実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	内山田　健次 （39） ＜令和５年４月＞ 修士（医科学）	社会参画入門 社会参画実習 公衆衛生学演習 血液検査学実習 一般検査学演習 寄生虫検査学実習※ 生体分析検査化学実習 免疫検査学実習 輸血・移植検査学実習 微生物検査学実習 検査総合管理学※ 医療安全管理学実習※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	助教	佐野　成雄 （62） ＜令和５年４月＞ 学士（経営情報学）	診療画像機器学実験 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 検査機器総論※ 臨床検査医学※ 臨床生理検査学1※ 臨床生理検査学2※ 臨床生理検査学実習 画像検査学※ 画像検査学実習 画像・AI解析検査学※ 臨床検査総合演習※ 臨床検査論2※ 臨地実習前総合実習 臨地実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	佐野　成雄 （63） ＜令和５年４月＞ 学士（経営情報学）	診療画像機器学実験 診療画像技術学実習1 診療画像技術学実習2 検査機器総論※ 臨床検査医学※ 臨床生理検査学1※ 臨床生理検査学2※ 臨床生理検査学実習 画像検査学※ 画像検査学実習 画像・AI解析検査学※ 臨床検査総合演習※ 臨床検査論2※ 臨地実習前総合実習 臨地実習
専	**助教**	**西村　まどか （41） ＜令和６年４月＞ 修士（医科学）**	**社会科学入門 社会参画実習 チーム医療概論※ チーム協働と課題解決 関係法規（医工学）※ 医用機器学実習 臨床支援技術学実習 人工呼吸療法学※ 循環制御治療学実習 人工呼吸療法学実習 血液浄化療法学実習 医用治療機器学実習 生体計測装置学実習 臨床実習**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	池畑　義人 （51） ＜令和５年４月＞ 博士（理学）	力学リテラシー 産学一致の勧め※ 大分学・大分楽※ スポーツサイエンス※
兼担	教授	池見　洋明 （54） ＜令和５年４月＞ 博士（理学）	力学リテラシー 自然科学入門※
兼担	教授	伊藤　順治 （57） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	自然科学入門※ 保健医療と工学※
兼担	教授	衛藤　俊寿 （57） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	情報リテラシー1 情報リテラシー2 データサイエンス入門 データサイエンス・AI基礎 データ分析と社会課題解決
兼担	教授	坂井　美穂 （53） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	スポーツサイエンス※
兼担	教授	中山　周一 （57） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	自然科学入門※
兼担	教授	福島　学 （55） ＜令和８年４月＞ 博士（工学）	保健医療と工学※
兼担	教授	藤田　浩輝 （53） ＜令和８年４月＞ 博士（工学）	保健医療と工学※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	池畑　義人 （52） ＜令和５年４月＞ 博士（理学）	力学リテラシー 産学一致の勧め※ 大分学・大分楽※ スポーツサイエンス※
兼担	教授	池見　洋明 （54） ＜令和５年４月＞ 博士（理学）	力学リテラシー 自然科学入門※
兼担	教授	伊藤　順治 （58） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	自然科学入門※ 保健医療と工学※
兼担	教授	衛藤　俊寿 （57） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	**情報リテラシー1** **データサイエンス入門** **データサイエンス・AI基礎** **データ分析と社会課題解決**
兼担	教授	坂井　美穂 （54） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	スポーツサイエンス※
兼担	**教授**	**中川　稔彦** **（66）** **＜令和５年４月＞** **修士（工学）**	**大分学・大分楽※**
兼担	教授	中山　周一 （57） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	自然科学入門※
兼担	教授	福島　学 （56） ＜令和８年４月＞ 博士（工学）	保健医療と工学※
兼担	教授	藤田　浩輝 （53） ＜令和８年４月＞ 博士（工学）	保健医療と工学※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	池畑　義人 （53） ＜令和５年４月＞ 博士（理学）	力学リテラシー 産学一致の勧め※ 大分学・大分楽※ スポーツサイエンス※
兼担	教授	池見　洋明 （55） ＜令和５年４月＞ 博士（理学）	力学リテラシー 自然科学入門※
兼担	教授	伊藤　順治 （59） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	自然科学入門※ 保健医療と工学※
兼担	教授	衛藤　俊寿 （58） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	**情報リテラシー1** **データサイエンス入門** **データサイエンス・AI基礎** **データ分析と社会課題解決**
兼担	教授	坂井　美穂 （55） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	スポーツサイエンス※
兼担	**教授**	**島岡　成治** **（71）** **＜令和６年４月＞** **工学修士**	**産学一致の勧め※**
兼担	**教授**	**中川　稔彦** **（67）** **＜令和５年４月＞** **修士（工学）**	**大分学・大分楽※**
兼担	教授	中山　周一 （58） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	自然科学入門※
兼担	教授	福島　学 （57） ＜令和８年４月＞ 博士（工学）	保健医療と工学※
兼担	教授	藤田　浩輝 （54） ＜令和８年４月＞ 博士（工学）	保健医療と工学※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	吉村　充功 （46） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	人間力概論※ 産学一致の勧め※ ジェネリックスキル養成1 ジェネリックスキル養成2
兼担	准教授	有吉　雄哉 （37） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	力学リテラシー 保健医療と工学※
兼担	准教授	黒田　匡迪 （34） ＜令和５年10月＞ 博士（理学）	自然科学入門※
兼担	准教授	高　文局 （56） ＜令和６年４月＞ 修士（比較社会文化）	第二外国語（韓国語）
兼担	准教授	小久保　雄介 （40） ＜令和５年10月＞ 博士（経済学）	社会科学入門※ 産学一致の勧め※ データ分析と社会課題解決 保健医療と経営※
兼担	准教授	COLLINS John B. （41） ＜令和５年４月＞ 修士(TESOL)ニュージーランド	英語1 英語2 英語3
兼担	准教授	鈴木　照夫 （60） ＜令和５年10月＞ 法学修士	ジェネリックスキル養成2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	吉村　充功 （47） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	人間力概論※ 産学一致の勧め※ ジェネリックスキル養成1 ジェネリックスキル養成2
兼担	准教授	有吉　雄哉 （38） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	力学リテラシー 保健医療と工学※
兼担	准教授	高　文局 （56） ＜令和６年４月＞ 修士（比較社会文化）	第二外国語（韓国語）
兼担	准教授	小久保　雄介 （40） ＜令和５年10月＞ 博士（経済学）	社会科学入門※ 産学一致の勧め※ データ分析と社会課題解決 保健医療と経営※
兼担	准教授	COLLINS John B. （41） ＜令和５年４月＞ 修士(TESOL)ニュージーランド	英語1 英語2 英語3
兼担	准教授	白石　知弘 （47） ＜令和５年４月＞ 博士（農学）	情報リテラシー1 情報リテラシー2 データサイエンス入門
兼担	准教授	鈴木　照夫 （61） ＜令和５年10月＞ 法学修士	ジェネリックスキル養成2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	山内　勝義 （65） ＜令和６年４月＞ 教養学士	大分学・大分楽※
兼担	教授	吉村　充功 （48） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	人間力概論※ 産学一致の勧め※ ジェネリックスキル養成1 ジェネリックスキル養成2
兼担	准教授	有吉　雄哉 （39） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	力学リテラシー 保健医療と工学※
兼担	准教授	高　文局 （57） ＜令和６年４月＞ 修士（比較社会文化）	第二外国語（韓国語） 海外文化体験
兼担	准教授	小久保　雄介 （41） ＜令和５年10月＞ 博士（経済学）	社会科学入門※ 産学一致の勧め※ データ分析と社会課題解決 保健医療と経営※
兼担	准教授	COLLINS John B. （42） ＜令和５年４月＞ 修士(TESOL)ニュージーランド	英語1 英語2 英語3
兼担	准教授	白石　知弘 （48） ＜令和５年４月＞ 博士（農学）	情報リテラシー1 情報リテラシー2 データサイエンス入門 データサイエンス・AI基礎 データ分析と社会課題解決
兼担	准教授	鈴木　照夫 （62） ＜令和５年10月＞ 法学修士	ジェネリックスキル養成2

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	竹田　隆行 （54） ＜令和５年10月＞ 修士（体育学）	スポーツサイエンス※
兼担	准教授	武田　正芳 （59） ＜令和５年４月＞ 体育学士	健康の科学※ スポーツサイエンス※
兼担	准教授	田中　秀和 （40） ＜令和５年10月＞ 修士(社会福祉学)	社会科学入門※
兼担	准教授	東寺　祐亮 （36） ＜令和５年４月＞ 博士（文学）	文章表現 人文科学への誘い※ ジェネリックスキル養成1 ジェネリックスキル養成2
兼担	准教授	中西　章敦 （46） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	産学一致の勧め※ 大分学・大分楽※ 保健医療と工学※
兼担	准教授	長﨑　浩介 （53） ＜令和５年10月＞ 修士（政策研究）	社会科学入門※
兼担	准教授	鍋田　耕作 （45） ＜令和７年10月＞ 修士（健康福祉学）	保健医療福祉論※
兼担	准教授	堀　仁史 （57） ＜令和５年４月＞ 修士（教育学）	健康の科学※
兼担	准教授	吉田　明 （51） ＜令和５年４月＞ 修士（マネジメント）	社会科学入門※ 健康の科学※ スポーツサイエンス※
兼担	准教授	吉本　圭一郎 （49） ＜令和８年４月＞ 修士（法学）※	保健医療と経営※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**教授**	竹田　隆行 （54） ＜令和５年10月＞ 修士（体育学）	スポーツサイエンス※
兼担	准教授	武田　正芳 （60） ＜令和５年４月＞ 体育学士	**健康の科学※**
兼担	准教授	東寺　祐亮 （36） ＜令和５年４月＞ 博士（文学）	文章表現 人文科学への誘い※ ジェネリックスキル養成1 ジェネリックスキル養成2
兼担	**教授**	中西　章敦 （47） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	産学一致の勧め※ 大分学・大分楽※ 保健医療と工学※
兼担	准教授	長﨑　浩介 （53） ＜令和５年10月＞ 修士（政策研究）	社会科学入門※
兼担	准教授	鍋田　耕作 （46） ＜令和７年10月＞ 修士（健康福祉学）	保健医療福祉論※
兼担	准教授	堀　仁史 （58） ＜令和５年４月＞ 修士（教育学）	健康の科学※
兼担	准教授	吉本　圭一郎 （50） ＜令和８年４月＞ 修士（法学）※	保健医療と経営※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**教授**	竹田　隆行 （55） ＜令和５年10月＞ 修士（体育学）	スポーツサイエンス※
兼担	准教授	武田　正芳 （61） ＜令和５年４月＞ 体育学士	**健康の科学※**
兼担	准教授	東寺　祐亮 （37） ＜令和５年４月＞ 博士（文学）	文章表現 人文科学への誘い※ ジェネリックスキル養成1 ジェネリックスキル養成2
兼担	**教授**	中西　章敦 （48） ＜令和５年４月＞ 博士（工学）	産学一致の勧め※ 大分学・大分楽※ 保健医療と工学※
兼担	准教授	長﨑　浩介 （54） ＜令和５年10月＞ 修士（政策研究）	社会科学入門※
兼担	准教授	鍋田　耕作 （47） ＜令和７年10月＞ 修士（健康福祉学）	保健医療福祉論※
兼担	准教授	堀　仁史 （59） ＜令和５年４月＞ 修士（教育学）	健康の科学※
兼担	准教授	吉本　圭一郎 （51） ＜令和８年４月＞ 修士（法学）※	保健医療と経営※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	吉森　聖貴 （42） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	自然科学入門※ 保健医療と工学※
兼担	准教授	藪内　聰和 （52） ＜令和５年４月＞ 修士（哲学）※	人間力概論※
兼担	助教	阿部　裕香里 （31） ＜令和５年10月＞ 博士（経営学）	社会科学入門※ 産学一致の勧め※ 保健医療と経営※
兼担	助教	江越　充 （37） ＜令和８年４月＞ 修士（工学）	保健医療と工学※
兼担	助教	梶田　真生 （34） ＜令和５年10月＞ 修士（商学）	社会科学入門※
兼担	助教	佐藤　ミレナ （49） ＜令和５年４月＞ 修士（経済学）	英語1 英語2 英語3
兼担	助教	高見　大介 （42） ＜令和５年４月＞ 学士（工学）	人間力概論※ コミュニケーション演習
兼担	助教	渕上　千香子 （33） ＜令和５年10月＞ 博士（学術）	文章表現 人文科学への誘い※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	吉森　聖貴 （43） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	自然科学入門※ 保健医療と工学※
兼担	**教授**	藪内　聰和 （52） ＜令和５年４月＞ 修士（哲学）※	人間力概論※
兼担	助教	阿部　裕香里 （31） ＜令和５年10月＞ 博士（経営学）	社会科学入門※ 産学一致の勧め※ 保健医療と経営※
兼担	**准教授**	江越　充 （37） ＜令和８年４月＞ 修士（工学）	保健医療と工学※
兼担	助教	佐藤　ミレナ （50） ＜令和５年４月＞ 修士（経済学）	英語1 英語2 英語3
兼担	助教	高見　大介 （42） ＜令和５年４月＞ 学士（工学）	人間力概論※ コミュニケーション演習※
兼担	**助教**	**Teshome Martin （39） ＜令和５年４月＞ 修士（応用言語学）**	**英語1 英語2**
兼担	助教	渕上　千香子 （33） ＜令和５年10月＞ 博士（学術）	文章表現 人文科学への誘い※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	吉森　聖貴 （44） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	自然科学入門※ 保健医療と工学※
兼担	**教授**	藪内　聰和 （53） ＜令和５年４月＞ 修士（哲学）※	人間力概論※
兼担	**准教授**	阿部　裕香里 （32） ＜令和５年10月＞ 博士（経営学）	社会科学入門※ 産学一致の勧め※ 保健医療と経営※ **大分学・大分楽※**
兼担	**准教授**	江越　充 （38） ＜令和８年４月＞ 修士（工学）	保健医療と工学※
兼担	**助教**	**衛藤　恵理香 （34） ＜令和６年４月＞ 博士（人間・環境学）**	**人文科学への誘い※**
兼担	助教	長田　ミレナ （51） ＜令和５年４月＞ 修士（経済学）	英語1 英語2 英語3
兼担	**准教授**	高見　大介 （43） ＜令和５年４月＞ 学士（工学）	人間力概論※ コミュニケーション演習※
兼担	**助教**	**Teshome Martin （40） ＜令和５年４月＞ 修士（応用言語学）**	**英語1 英語2 英語3**
兼担	**准教授**	渕上　千香子 （34） ＜令和５年10月＞ 博士（学術）	人文科学への誘い※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	穂刈　一樹 （28） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	スポーツサイエンス※
兼任	講師	安部　祐治 （66） ＜令和５年10月＞ 学士（工学）	化学リテラシー 臨床支援技術学実習 循環制御治療学実習 臨床実習
兼任	講師	甲斐　仁美 （55） ＜令和７年４月＞ 博士（看護学）	チーム医療概論※
兼任	講師	許　挺傑 （38） ＜令和６年４月＞ 博士（言語学）	第二外国語（中国語）
兼任	講師	寺尾　英夫 （75） ＜令和７年10月＞ 医学博士	保健医療福祉論※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	助教	穂刈　一樹 （28） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	スポーツサイエンス※
兼担	**助教**	**家鋪　真衣** **（31）** **＜令和５年４月＞** **博士（理学）**	**力学リテラシー** **自然科学入門※**
兼任	**講師**	**赤尾　将吾** **（35）** **＜令和５年４月＞** **修士（体育科学）**	**健康の科学※**
兼任	講師	安部　祐治 （67） ＜令和５年10月＞ 学士（工学）	化学リテラシー 臨床支援技術学実習 循環制御治療学実習 臨床実習
兼任	**講師**	**宇治橋　貞幸** **（76）** **＜令和５年10月＞** **博士（工学）**	**スポーツサイエンス※**
兼任	**講師**	**Evans Glynis Margaret** **（62）** **＜令和５年４月＞** **修士（文学）**	**英語1** **英語2**
兼任	講師	甲斐　仁美 （56） ＜令和７年４月＞ 博士（看護学）	チーム医療概論※
兼任	講師	許　挺傑 （38） ＜令和６年４月＞ 博士（言語学）	第二外国語（中国語）
兼任	**講師**	**杉浦　嘉雄** **（69）** **＜令和５年10月＞** **学士（理学）**	**コミュニケーション演習※**
兼任	講師	寺尾　英夫 （76） ＜令和７年10月＞ 医学博士	保健医療福祉論※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**准教授**	穂刈　一樹 （29） ＜令和５年10月＞ 博士（工学）	スポーツサイエンス※
兼担	**助教**	**家鋪　真衣** **（32）** **＜令和５年４月＞** **博士（理学）**	**力学リテラシー** **自然科学入門※**
兼任	**講師**	**赤尾　将吾** **（36）** **＜令和５年４月＞** **修士（体育科学）**	**健康の科学※**
兼任	講師	安部　祐治 （68） ＜令和５年10月＞ 学士（工学）	化学リテラシー 臨床支援技術学実習 循環制御治療学実習 臨床実習
兼任	**講師**	**宇治橋　貞幸** **（77）** **＜令和５年10月＞** **博士（工学）**	**スポーツサイエンス※**
兼任	**講師**	**Evans Glynis Margaret** **（63）** **＜令和５年４月＞** **修士（文学）**	**英語1** **英語2** **英語3**
兼任	講師	甲斐　仁美 （57） ＜令和７年４月＞ 博士（看護学）	チーム医療概論※
兼任	講師	許　挺傑 （39） ＜令和６年４月＞ 博士（言語学）	第二外国語（中国語）
兼任	**講師**	**杉浦　嘉雄** **（70）** **＜令和５年10月＞** **学士（理学）**	**コミュニケーション演習※**
兼任	講師	寺尾　英夫 （77） ＜令和７年10月＞ 医学博士	保健医療福祉論※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	中川　幹子 （66） ＜令和５年10月＞ 医学士	臨床生理検査学1※ 臨床生理検査学2※
兼任	講師	長谷川　英男 （74） ＜令和７年４月＞ 医学博士	寄生虫検査学実習※
兼任	講師	平木　功明 （49） ＜令和５年４月＞ 修士（工学）	情報リテラシー1 情報リテラシー2
兼任	講師	松浦　恵子 （60） ＜令和６年４月＞ 博士（医学）	臨床病態学1 臨床病態学2
兼任	講師	森　一生 （66） ＜令和５年10月＞ 薬学博士	薬理学
兼任	講師	八尋　隆明 （49） ＜令和８年４月＞ 博士（医学）	医療安全管理学実習※
兼任	講師	渡部　綾 （49） ＜令和６年10月＞ 修士（看護学）	公衆衛生学※ 保健医療福祉論※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	中川　幹子 （67） ＜令和５年10月＞ 医学士	臨床生理検査学1※ 臨床生理検査学2※
兼任	講師	長谷川　英男 （74） ＜令和７年４月＞ 医学博士	寄生虫検査学実習※
兼任	講師	平木　功明 （49） ＜令和５年４月＞ 修士（工学）	情報リテラシー1 情報リテラシー2
兼任	講師	松浦　恵子 （61） ＜令和６年４月＞ 博士（医学）	臨床病態学1 臨床病態学2
兼任	講師	森　一生 （67） ＜令和５年10月＞ 薬学博士	薬理学
兼任	講師	八尋　隆明 （52） ＜令和８年４月＞ 博士（医学）	医療安全管理学実習※
兼任	**講師**	**吉川　知子 （54） ＜令和５年４月＞ 学士（地理学）**	**英語1 英語2**
兼任	講師	渡部　綾 （49） ＜令和６年10月＞ 修士（看護学）	公衆衛生学※ 保健医療福祉論※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	中川　幹子 （68） ＜令和５年10月＞ 医学士	臨床生理検査学1※ 臨床生理検査学2※
兼任	**講師**	**中渡　智文 （34） ＜令和６年10月＞ 専門学校卒**	**理工学実験 診療画像技術学実習1**
兼任	講師	長谷川　英男 （75） ＜令和７年４月＞ 医学博士	寄生虫検査学実習※
兼任	講師	平木　功明 （50） ＜令和５年４月＞ 修士（工学）	情報リテラシー1 情報リテラシー2
兼任	講師	松浦　恵子 （62） ＜令和６年４月＞ 博士（医学）	臨床病態学1 臨床病態学2
兼任	**講師**	**Miller Nicholas Henry （49） ＜令和６年４月＞ 修士（学術）**	**英語3**
兼任	講師	森　一生 （68） ＜令和５年10月＞ 薬学博士	薬理学
兼任	講師	八尋　隆明 （53） ＜令和８年４月＞ 博士（医学）	医療安全管理学実習※
兼任	**講師**	**吉川　知子 （55） ＜令和５年４月＞ 学士（地理学）**	**英語1 英語2 英語3**
兼任	講師	渡部　綾 （50） ＜令和６年10月＞ 修士（看護学）	公衆衛生学※ 保健医療福祉論※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	工藤　和美 （59） ＜令和６年10月＞ 専門学校卒	一般検査学演習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論1※ 臨床検査論3※
兼任	講師	生野　良治 （66） ＜令和６年10月＞ 修士（医科学）	診療画像機器学2※ 診療画像検査学2 医療安全管理学
兼任	講師	松野　秀人 （64） ＜令和７年10月＞ 専門学校卒	臨地実習前総合実習 臨地実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	工藤　和美 （60） ＜令和６年10月＞ 専門学校卒	一般検査学演習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論1※ 臨床検査論3※
兼任	講師	生野　良治 （67） ＜令和６年10月＞ 修士（医科学）	診療画像機器学2※ 診療画像検査学2 医療安全管理学
兼任	講師	松野　秀人 （65） ＜令和７年10月＞ 専門学校卒	臨地実習前総合実習 臨地実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	工藤　和美 （61） ＜令和６年10月＞ 専門学校卒	一般検査学演習 臨床検査総合演習※ 臨床検査論1※ 臨床検査論3※
兼任	講師	生野　良治 （68） ＜令和６年10月＞ 修士（医科学）	診療画像機器学2※ 診療画像検査学2 医療安全管理学 **診療画像技術学実習1**
兼任	講師	松野　秀人 （66） ＜令和７年10月＞ 専門学校卒	臨地実習前総合実習 臨地実習

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　年齢は、**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。
・　指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュ
の授業科目名を記入するとともに、下

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和５年度】

・専任の伊藤茂樹教授就任辞退。後任未定であるが、令和6年4月から専任教員採用予定で公募中。
・兼担の衛藤俊寿教授において、「情報リテラシー2」を削除。
・兼担の中川稔彦教授を追加。
・兼担の白石知弘准教授を追加。
・兼担の竹田隆行教授の職位について、令和5年度に准教授から教授に昇任。
・兼担の武田正芳准教授において、「スポーツサイエンス※」を削除。
・兼担の田中秀和准教授が令和4年度に退職。
・兼担の中西章敦教授の職位について、令和5年度に准教授から教授に昇任。
・兼担の吉田明准教授が令和4年度に退職。
・兼担の藪内聰和教授の職位について、令和5年度に准教授から教授に昇任。
・兼担の江越充准教授の職位について、令和5年度に助教から准教授に昇任。
・兼担の梶田真生助教が令和4年度に退職。
・兼担のTeshome Martin助教を追加。
・兼担の家舗真衣助教を追加。
・兼任の赤尾将吾講師を追加。
・兼任の宇治橋貞幸講師を追加。
・兼任のEvans Glynis Margaret講師を追加。
・兼任の杉浦嘉雄講師を追加。
・兼任の吉川知子講師を追加。

【令和６年度】

・専任の北村茂三教授が令和6年4月に就任。令和5年11月教員審査済。（伊藤茂樹教授の後任）
・専任の姫野栄一講師が令和5年6月に死去により退職。令和5年7月より新規教員採用を行った結果、専任の西村まどか助教が令和6年4月に就任。令和6年2月教員審査済。
・専任の内山田健次助教が令和6年4月に辞任。後任未定であるが、令和7年4月から専任教員採用予定で公募中。
・専任の亀井修教授において、「チーム協働と課題解決」「放射線撮影学2」を削除し、「放射線安全管理学※」を追加。
・専任の野口敦司教授において、「社会参画入門」「社会参画実習」「チーム医療概論※」「保健医療と経営※」「基礎医学大要※」「放射線基礎科学※」「放射線医薬品学※」「核医学検査技術学1※」「核医学検査技術学2※」「放射線関係法規※」を削除し、「放射化学」「放射線医薬品学」「核医学検査技術学1」「核医学検査技術学2」を追加。
・兼担の島岡成治教授を追加。
・兼担の山内勝義教授を追加。
・兼担の黒田匡迪准教授を担当科目変更により削除。
・兼担の高文局准教授において、「海外文化体験」を追加。
・兼担の白石知弘准教授において、「データサイエンス・AI基礎」「データ分析と社会課題解決」を追加。
・兼担の阿部裕香里准教授の職位について、令和6年度に助教から准教授に昇任。また、「大分学・大分楽※」を追加。
・兼担の衛藤恵理香助教を追加。
・兼担の長田ミレナ助教について、令和6年度より名字変更。
・兼担の髙見大介准教授の職位について、令和6年度より助教から准教授に昇任。
・兼担のTeshome Martin助教において、「英語3」を追加。
・兼担の渕上千香子准教授の職位について、令和6年度より助教から准教授に昇任。また、「文章表現」を削除。
・兼担の穂刈一樹准教授の職位について、令和6年度より助教から准教授に昇任。
・兼担の家舗真衣助教において、「自然科学入門※」を追加。
・兼任のEvans Glynis Margaret講師において、「英語3」を追加。
・兼任の中渡智文講師を追加。
・兼任のMiller Nicholas Henry講師を追加。
・兼任の吉川知子講師において、「英語3」を追加。
・兼任の生野良治講師において、「診療画像技術学実習1」を追加。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**原則としてＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（令和５年度開設であれば令和４年度以前）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（注）・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「（２）-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
16 名	8 名

（注）・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
12	8	4	3	27	11	12	8	3	3	26	2
(11)	(4)	(3)	(2)	(20)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
12	8	3	3	26	11	12	8	4	3	27	11
[0]	[0]	[△1]	[0]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（Ｂ））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（Ｃ））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
64 歳	7 名	11 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{27} = 96.29\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{7}{26} = 26.92\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{11}{11} = 100\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２） 専任教員数等

（注）・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「（２）-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「（２）-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

（２）－① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
16 名	8 名

（注）・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。

・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

（２）－② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	助手（B'）
12	8	4	3	27	11	12	8	3	3	26	2
(11)	(4)	(3)	(2)	(20)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	助手（D'）
12	8	3	3	26	11	12	8	4	3	27	11
[0]	[0]	[△1]	[0]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［ ］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
64 歳	7 名	11 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{26}{27} = 96.29\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{7}{26} = 26.92\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{11}{11} = 100\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	教授	伊藤　茂樹	R5.3	必修	卒業研究	①	R5.3　家庭の事情により就任辞退（５）
				選択	放射化学	①	
				選択	放射線医薬品学	①	
				選択	核医学検査技術学1	①	
				選択	核医学検査技術学2	①	
				選択	放射線安全管理学	①	
				選択	実践臨床画像論	①	
				選択	核医学検査技術学演習	①	
				選択	臨床実習（診療参加型）	①	

合計（D）				後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1 人	必修	1	科目	必修	1 科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	8	科目	選択	8 科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	9	科目	計	9 科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	姫野　栄一	R5.6	必修	社会参画入門	①	R5.6.26付け　本人死去により退職（６）
				必修	社会参画実習	①	
				必修	チーム医療概論	①	
				必修	チーム協働と課題解決	①	
				選択	関係法規（医工学）	①	
				選択	臨床支援技術学実習	①	
				選択	人工呼吸療法学	①	
				選択	人工呼吸療法学実習	①	
				選択	血液浄化療法学実習	①	
				選択	医用治療機器学実習	①	
				選択	生体計測装置学実習	①	
				選択	臨床実習	①	
2	助教	内山田　健次	R6.4	必修	社会参画入門	①	R6.4.30付け　一身上の都合により辞任（６）
				必修	社会参画実習	①	
				選択	公衆衛生学演習	③	
				選択	血液検査学実習	③	
				選択	一般検査学演習	③	
				選択	寄生虫検査学実習	③	
				選択	生体分析検査化学実習	③	
				選択	免疫検査学実習	③	
				選択	輸血・移植検査学実習	③	
				選択	微生物検査学実習	③	
				選択	検査総合管理学実習	③	
				選択	医療安全管理学実習	③	
				選択	臨地実習前総合実習	③	
				選択	臨地実習	③	

合計（F）				後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
2 人	必修	6	科目	必修	6 科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	20	科目	選択	8 科目	選択	0	科目	選択	12	科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	26	科目	計	14 科目	計	0	科目	計	12	科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
3　人	必修	7	科目	必修	7 科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	28	科目	選択	16 科目	選択	0	科目	選択	12	科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	35	科目	計	23 科目	計	0	科目	計	12	科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{3}{27} = 11.11\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　令和５年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

2 人

（注）・（３）－①、（３）－②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
・　令和６年度開設の学科等の場合、（D）＋（F）と同数を記載してください。

（３）－⑥　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計				後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

・令和5年3月の専任教員就任辞退（伊藤茂教授、着任予定日：令和6年4月）により、令和5年4月から新規教員の公募を開始した。採用決定者1名（北村教授）について、令和5年9月申請のAC教員審査にて職位「適格」・担当科目「可」の判定結果を受け、令和6年4月に着任した。

・令和5年6月の専任教員死去（姫野講師）により、令和5年7月から新規教員の公募を開始した。採用決定者1名（西村助教）について、令和5年12月申請のAC教員審査にて職位「適格」・担当科目「可」の判定結果を受け、令和6年4月に着任した。また、専任教員死去を受け、当該教員の担任学生のメンタルケアのため個別面談を実施した。なお、令和5年度担当科目については非常勤講師が対応した。

・令和6年4月の専任教員辞任（内山田助教）により、令和6年5月から新規教員の公募を実施している。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和4年）	①「審査意見への対応を記載した書類（６月）」の審査意見２への対応において、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーが修正されたが、保健医療学科という１つの学科に、診療放射線学コース、臨床検査学 コース、臨床医工学コースという異なる知識や能力を身に付けるための３つのコースを設置することの目的や趣旨がより明確になるよう、本学科の学生に対し共通に修得させる知識や能力等と、それらを身に付けるための授業科目等の配置・構成や、本学科に３つのコースを設置する趣旨、各コースの養成する人材像及び修得させる知識や能力等との関連性について、志願者や学生等に対し各種広報や説明会等の場であらかじめ明確に説明すること。	【認可】 遵守事項	３つのコースを設置する目的や趣旨については、地域新聞や広報誌等で説明し、志願者や高校生等に対しては、オープンキャンパスや高校訪問等でさらに具体的に説明をしている。新入生や保護者に対しては、入学式終了後の学部説明会や学生オリエンテーションで詳しく説明をしている。また、卒業後の就職先である県内の医療機関にも理解を深めてもらうため、直接訪問して、説明をしている。（５） 各コースの目的や趣旨について、志願者や高校生に対して高校訪問およびオープンキャンパスで具体的に説明している。また、入学した学生に対しては、入学直後のオリエンテーションで詳しく説明している。（６）	履行中	次年度以降も、志願者や高校生等に対しては、オープンキャンパスや高校訪問等で、新入生や保護者に対しては、入学式後の学部説明会や学生オリエンテーションで、説明を行う。（５） 次年度以降も志願者や高校生に対しては、高校訪問やオープンキャンパスで説明する。また、新入生についてはオリエンテーションで説明を行う。（６）
認　可　時 （令和4年）	②「審査意見への対応を記載した書類（６月）」の審査意見６への対応において、アドミッション・ポリシー【知識・技能】①を、「特に数学、理科、国語、英語のいずれか、あるいは複数の教科・科目において、高い学習意欲をもち、基礎的知識を応用する力を有する人」から「大学での修学に必要な基礎事項を理解したうえで、特に数学または国語において、学習意欲と基礎学力を有する人」に変更された。あわせて、本変更の意図として「大学での修学に必要な基礎事項を理解していることと、専門能力を育成する上で、特に必要となると考える「数学」または「国語」における学習意欲と基礎学力を求める」と説明されたが、コース共通の専門科目を見ると、「解剖学」や「生理学」、「生化学」等といった化学や生物学と関連する科目が多く見られ、教養教育科目においても力学や生物、化学に関するリテラシー科目を複数開講しているなど、本学部において必要となる基礎学力は、化学、生物、物理といった理系科目も想定されると見受けられることから、必要に応じてアドミッション・ポリシーに掲げる必要な教科に「理科」を加えるか、「理科」をアドミッション・ポリシーに掲げないことを含めて入学志願者に求める基礎的知識の考え方を明確に周知すること。	【認可】 遵守事項	「理科」の基礎的知識については、入学志願者の必須条件とはしていない。専門教育の基礎として必要な部分については、入学前教育（eラーニング）で「理科」を受講させたり、力学リテラシー、化学リテラシー、生物リテラシーといった理科に関連する選択科目を履修するよう指導している。これらの内容については、入学志願者に対し、オープンキャンパスや高校訪問等で具体的に説明をしている。（５）（６）	履行中	次年度以降も、オープンキャンパスや高校訪問等で説明を行う。（５）（６）

認　可　時 （令和4年）	③専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を充足させること。	【認可】 遵守事項	今回不可となった「診療画像技術学実習1」「診療画像技術学実習2」については、令和6年度に当該科目を担当する教員を採用する計画である。（５） 不可となった「診療画像技術学実習1」「診療画像技術学実習2」については、教授1名を採用し、令和5年11月のAC教員審査において、「可」の判定を受けた。よって、当該科目の教員については充足した。（６）	履行済	対象科目の開講までに、ＡＣ教員審査を受ける計画で担当教員の採用を進める。（５）
認　可　時 （令和4年）	④完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。	【認可】 遵守事項	教員の補充については、退職する教員の専門分野や職位を加味して、新規教員の公募を計画している。准教授以下の教員については、教育および研究活動の支援を行い、内部昇任を着実に実施出来るよう学部方針として位置づけている。また、令和5年度に日本文理大学医療専門学校教員2名を助手として採用した。（５） 教員の補充については、退職する教員の専門分野や職位を加味して、新規教員の公募を計画している。准教授以下の教員については、内部昇任を着実に実施出来るよう、教育および研究活動の支援を行っている。（６）	履行中	完成年度に不足する教授または准教授については、内部昇任や新規公募を計画的に行い、教育研究の水準と体制維持の準備をしている。医療専門学校の教員については、今後も計画的に助手への登用を行う予定である。（５）（６）
認　可　時 （令和4年）	⑤工学部建築学科の入学定員超過の是正に努めること。	【認可】 遵守事項	以下の取り組みによって、入学定員超過の是正に努めた。 ①令和4年度入学生より入学定員を60名から80名へと変更。 ②実施入試を他学科に比べ、制限することで定員管理に努めた。 以上より、令和5年度入学生は75名となり、入学定員充足率は0.94、収容定員充足率は1.18へと改善した。（５） 以下の取り組みによって、入学定員超過の是正に努めた。 ①令和4年度入学生より入学定員を60名から80名へと変更。 ②実施入試を他学科に比べ、制限することで定員管理に努めた。 以上より、令和6年度入学生は60名となり、入学定員充足率は0.75、収容定員充足率は0.99へと改善した。（６）	履行済	継続して入学定員管理の厳守に努め、定員充足率についても改善に努めていく。（５） 継続して入学定員管理の厳守に努めていく。（６）

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

【令和５年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和５年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。

【令和６年度から新たに調査対象となった学科等又は令和５年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7　その他全般的事項

＜保健医療学部＞

（1） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①　入学試験について（別紙1【設置時の計画】参照）	①　別紙1【変更内容等】参照

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

・教育活動評価委員会（別紙2）

・日本文理大学ＦＤ委員会（別紙3）

・日本文理大学ＳＤ委員会（別紙4）

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・教育活動評価委員会　年１回

・日本文理大学ＦＤ委員会　年２回

・日本文理大学ＳＤ委員会　年１回

ｃ　委員会の審議事項等

・教育活動評価委員会では、本学の教育活動の状況について定期的な点検・評価を実施している。

・日本文理大学ＦＤ委員会では、教育内容の改善に関する事項、教育方法の向上に関する事項、教育研究能力の維持向上に関する事項、教員間の連携と意思疎通に関する事項等を審議している。

・日本文理大学ＳＤ委員会では、ＳＤ研修プログラムの開発・実施、ＳＤ活動に関する情報の収集及び提供、本学教職員のＳＤ活動への参加状況の管理等を審議している。

②　実施状況

ａ　実施内容

・全専任教員の教育活動評価資料を作成し、点検・評価を実施した。

（ＦＤ活動）

・新任教員研修会の実施

・ＦＤ研修会の実施

・若手教員交流会の実施

・受講アンケートの実施及び分析

（ＳＤ活動）

・ＳＤ研修会の実施

ｂ　実施方法

・教育活動評価資料については、大学事務部門で評価ポイントを作成し、各教員のポイントを評価基準に照らして実施している。

・ＦＤ研修会では、オンデマンド動画システムの構築、おおいた地域連携プラットフォームＦＤ・ＳＤ事業ワーキンググループの研修企画・実施等を行った。

・ＳＤ研修会では、オンデマンド、対面形式を組み合わせ実施した。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・教育活動評価委員会を開催し全専任教員の教育活動について点検・評価を実施した。

・ＦＤ若手教員交流会は、13名の専任教員が参加した。

・ＦＤ研修会は、計5回開催（地域連携プラットフォーム含む）し、延べ145名の専任教員が参加した。

・ＳＤ研修会は、計6回開催し、延べ372名の専任教員が参加した。

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・教育活動評価では、授業評価の高かった教員に対して顕彰している。

・授業評価ポイントの要件を満たさなかった教員には、改善計画書を提出させている。

・受講アンケート結果を集計・分析し、各教員へフィードバックし授業改善へ役立てている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期

・前期、後期期間の終了時に、受講アンケート（各授業に対する授業評価）を実施している。

b　教員や学生への公開状況、方法等

・アンケート結果については、教員ごとに集計しフィードバックしている。また、全体集計・分析を行い、大学評議会やFD研修会で全教職員に報告している。受講アンケートの結果は、大学HP上で公開している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a　委員会の設置状況

該当なし

b　委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c　委員会の審議事項等

該当なし

d　その他

該当なし

② 審議状況

a　審議した内容

該当なし

b　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

・別紙5参照

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和7年3月 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

https://www.nbu.ac.jp/guide/disclosure/

③ 認証評価を受ける計画

・令和２年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の認証評価を受審し、令和２年４月１日より令和９年３月31日までの適合認定を得た。

・次回は令和８年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の認証評価を受審予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和６年度）

a 公表予定の有無 〔 （有） ・ 無 〕

≪ａで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後１ヶ月以内 ・ 公表後２～３ヶ月以内 ・ （公表後３ヶ月以降） 〕

c 公表方法 〔（ウェブサイトへの掲載） ・ その他（ ） 〕

≪ａで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔 〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

【設置時の計画】

ａ．出願基準（評定平均値）

【学校推薦型選抜】

①指定校推薦入試／日本文理大学附属高校推薦入試

出願基準については、指定校推薦入試では本学で定める高等学校に在籍し評定平均値 3.3～3.5 以上の者と定める。附属高校推薦入試では附属高校に在籍し評定平均値が 3.3 以上の者と定める。

②公募推薦入試

出願基準については､｢高等学校もしくは中等教育学校を令和 4(2022)年 3 月に卒業した者及び令和 5(2023)年 3 月に卒業見込の者」｢通常の課程による 12 年の学校教育を令和 4（2022）年 3 月に修了した者及び令和 5（2023）年 3 月に修了見込みの者」とし、評定平均値 3.5 以上の者と定める。

【総合型選抜】

①特待生選抜自己推薦型入試

出願基準については､｢高等学校もしくは中等教育学校を令和 4(2022)年 3 月に卒業した者及び令和 5(2023)年 3 月に卒業見込の者」｢通常の課程による 12 年の学校教育を 4（2022）年 3 月に修了した者及び令和 5（2023）年 3 月に修了見込みの者」とし、評定平均値 3.5 以上の者と定める。

ｂ．出願資格

入学を志願することのできる者は次の通りである。但し、入試区分により出願資格は異なる。

①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び令和 5（2023）年 3 月卒業見込の者。

②通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 5（2023）年 3 月修了見込みの者。

③以下の高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 5（2023）年 3 月までにこれに該当する見込みのある者。

（ア）外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者（令和 5（2023）年 3 月修了見込みの者を含む）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。

（イ）文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和 5（2023）年 3 月修了見込みの者を含む)。

（ウ）専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者(令和 5(2023)年 3 月修了見込みの者を含む)。

（エ）文部科学大臣の指定した者（令和 5（2023）年 3 月までにこれに該当する見込みの者を含む)。

（オ）高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格の者（合格見込みの者を含む。なお、旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む)。

（カ）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 5（2023）年 4 月 1 日までに 18 歳に達する者。

【変更内容等】

ａ．出願基準（評定平均値）

過去 2 か年の出願状況や高校からの要望等を踏まえ、以下の出願基準（評定平均値）へと変更。

【学校推薦型選抜】

①指定校推薦入試　：　評定平均値 3.3 以上の者と定める。

日本文理大学附属高校推薦入試　：　評定平均値 3.8 以上の者と定める。

②公募推薦入試　：　評定平均値 3.0 以上の者と定める。

【総合型選抜】

①自己推薦　学力試験型入試（昨年度名称変更）　：　評定平均値 3.0 以上の者と定める。

ｂ．出願資格

②について、以下の通りに変更。

特別支援学校の高等部または高等専門学校の 3 年次を修了した者及び令和 7(2025)年 3 月修了見込みの者。

以上

○日本文理大学教育活動評価規程

平成18年４月１日制定

（目的）

第１条　この規程は、日本文理大学（以下「本学」という。）の教育活動の状況について定期的な点検・評価（以下「評価」という。）を実施することにより、本学の教育活動の一層の充実と向上を図り、もって本学の理念の実現を図ることを目的とする。

（評価の対象）

第２条　評価の対象は、本学の専任の教授、准教授、講師、助教および助手の教育活動とする。

（評価の機関）

第３条　評価は、教育活動評価委員会（以下「委員会」という。）で行う。

２　委員会は、学長、副学長、大学院工学研究科長、学部長、大学事務本部長および法人総務担当責任者で構成する。

３　委員会の庶務は、大学事務本部教育推進担当で処理する。

（評価の部門と項目）

第４条　評価は、教育部門、運営部門、自己評価部門の項目ごとのポイントで表す。

２　各項目は、教育活動評価資料作成方法として別に定める。

（教育活動評価資料の作成）

第５条　教育活動評価資料の作成は、前年度の教育活動を対象にして毎年４月に行う。

２　教育活動評価資料の作成方法は、教育活動評価資料作成方法として別に定める。

（評価の方法）

第６条　評価は、委員会が教育活動評価資料を用いて、各教員のポイントを評価基準に照らして毎年４月に行う。

２　評価基準は、委員会で審議の上、学長が定める。

３　委員会は、必要に応じて評価される教員の意見を聴取する機会を設ける。

（評価の運用）

第７条　委員会は、評価の結果を教員の諸活動の活性化を促すために利用する。

２　委員会は、評価基準に照らして高い評価を受けた教員に対し、その活動の一層の向上を促すための適切な措置をとる。

３　委員会は、評価基準に照らして低い評価を受けた教員に対し、その理由を調査分析し、活動状況の改善について、適切な指導及び助言を行う。

４　委員会は、評価の結果を総合的に集計分析し、本学の教員の諸活動の現状を把握し、本学の理念の実現のために積極的に利用する。

（評価結果の公表）

第８条　教育活動評価資料および評価の結果は、個人情報として取り扱い、原則として公表しない。

２　自己点検評価あるいは第三者評価などにおいて、教育活動評価資料および評価の結果を利用する場合は、委員会の承認を得ることとする。

３　委員会は、必要に応じて第７条第４項による集計分析の結果並びに本学の教員の諸活動の現状を公表する。

（改廃）

第９条　この規程の改廃は、大学評議会の審議を経て、学長が決定する。

附　則

この規程は、平成18年４月１日から施行する。

附　則（平成19年４月１日）

この規程は、平成19年４月１日より施行する。

附　則（平成20年４月28日）

この規程は、平成20年４月28日より施行する。

附　則（平成24年６月１日）

この規程は、平成24年６月１日より施行する。

附　則（平成26年４月１日）

この規程は、平成26年４月１日より施行する。

附　則（平成27年４月１日）

この規程は、平成27年４月１日より施行する。

附　則（平成28年４月１日）

この規程は、平成28年４月１日より施行する。

附　則（平成29年６月１日）

この規程は、平成29年６月１日より施行する。

附　則（令和３年２月22日）

この規程は、令和３年２月22日より施行する。

○日本文理大学ＦＤ委員会規程

平成20年４月28日制定

（目的）

第１条　この規程は、日本文理大学ＦＤ委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について、必要な事項を定める。

（委員会の構成）

第２条　委員会は、委員長、副委員長、工学部、経営経済学部及び保健医療学部の委員をもって構成する。

２　委員長は、本学教員のうちから、学長の推薦に基づき、理事会の承認を得て理事長が任免する。

３　副委員長は、本学教員のうちから委員長が推薦し、学長が委嘱する。

４　委員は、各学部の教員のうちから互選により選出し、委員長が指名し、学長が委嘱する。

５　委員の任期は２年とする。ただし、再任は妨げない。

（委員会運営）

第３条　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

２　議長に事故あるときは、あらかじめ議長の指名する者が、その職務を代理する。

３　委員会は、その構成員の３分の２以上の出席がなければ会議を開くことができない。

４　委員会の議事は、出席した構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

５　議長は必要に応じて、構成員以外の者を出席させ意見を聴くことができる。

（審議事項）

第４条　委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。

（１）　教育内容の改善に関する事項

（２）　教育方法の向上に関する事項

（３）　教育研究能力の維持向上に関する事項

（４）　教員間の連携と意思疎通に関する事項

（５）　その他重要事項

（所轄）

第５条　委員会の庶務は、大学事務本部教育推進担当において処理する。

（改廃）

第６条　この規程の改廃は、大学評議会の審議を経て、学長が決定する。

附　則

この規程は、平成20年４月28日から施行する。

附　則（平成24年６月１日）

この規程は、平成24年６月１日から施行する。

附　則（平成27年４月１日）

この規程は、平成27年４月１日から施行する。

附　則（平成29年６月１日）

この規程は、平成29年６月１日から施行する。

附　則（令和２年４月１日）

この規程は、令和２年４月１日から施行する。

附　則（令和５年４月１日）

この規程は、令和５年４月１日から施行する。

○日本文理大学ＳＤ委員会規程

令和２年３月23日制定

（目的）

第１条　この規程は、日本文理大学ＳＤ委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について、必要な事項を定める。

（具体的取組）

第２条　委員会は、下記の事項を審議するとともに、組織的な取組を推進するために具体的方策を審議する。

（１）　ＳＤ研修プログラムの開発・実施
（２）　ＳＤ活動に関する情報の収集及び提供
（３）　本学教職員のＳＤ活動への参加状況の管理
（４）　その他学長の諮問する事項

（委員会の構成）

第３条　委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成される。

（１）　学長
（２）　副学長
（３）　工学研究科長
（４）　各学部長
（５）　学長室長
（６）　大学事務本部長
（７）　大学事務本部部長職以上の者

２　委員会の委員長は学長とし、委員会を招集し、その議長となる。

３　議長は、必要に応じて、構成員以外の者を出席させ意見を聴くことができる。

４　委員会の議事は、出席した構成員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第４条　委員会の庶務は、大学事務本部大学企画業務担当において処理する。

第５条　この規程の改廃は、大学評議会の審議を経て、学長が決定する。

附　則

この規程は、令和２年３月23日より施行する。

保健医療学部保健医療学科設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

日本文理大学は、「産学一致」の建学の精神を礎とし、大学の基本理念として掲げた「産学一致」、「人間力の育成」及び「社会・地域貢献」に基づき、広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究することによって、知的、道徳的及び応用的能力を展開し、人格の向上完成に努め、信頼と愛情に支えられた、産業界、地域社会さらに国際社会に有為な人材を育成することを目的としている。

保健医療学部保健医療学科は、「人間力教育」の考え方を基本とし、専門分野に関する知識と技術の修得に加えて、幅広い教養と倫理観を持ち、豊かな人間性と地域愛を基盤に、「人間力と専門の能力、職業能力を兼ね備え、地域医療現場や様々な関連職域で活躍できる人材」を育成することを目的として、２０２３年４月に開設した。

上記の学部の目的を達成するために、２０２４年４月末日までに以下の取組みを行った。

１．入学者の確保

開設年度の 2023 年より、学部特設サイトの設置、学部単体のパンフレット作製、TV/Web コマーシャルにより積極的に学部設置について情報公開を行っている。また、高校へは入試業務を扱うアドミッションオフィス担当職員が積極的に訪問を行い、県内高校・医療機関へは学長・学部長が自ら訪問し、学部設置の趣旨・意義について説明を行ってきた。高校生・保護者に対しては進学ガイダンス、オープンキャンパス等を通して学部の魅力を発信している。入学試験は、入試試験要項に沿って適切に実施され、入学定員１６０名に対して、１３６名の入学者を確保するに至った（前年度比＋10 名）。次年度以降はより広報活動を充実させ、入学者数の確保を行う。

２．教員組織

保健医療学部専任教員は、令和 6 年 5 月時点で総員２８名（助手を含む）が在籍している。なお、設置認可申請時の計画から令和 5 年度までの変更事項は以下の２点である。

①令和６年４月着任予定の教員１名より令和５年４月の段階で採用辞退の申し出があったため、同月より新規教員の公募を開始した。1 名の採用決定後、9 月に AC 教員審査を受審し、令和 6 年 4 月に着任した。

②令和５年６月に専任教員 1 名が死去したことに伴い、7 月より新規教員の公募を開始した。1 名の採用決定後、12 月に AC 教員審査を受審し、令和 6 年 4 月に着任した。

また、令和 6 年 5 月時点での変更事項については以下のとおりである。

・令和６年４月に専任教員１名が辞任したことに伴い、５月より新規教員の公募を開始した。採用決定後、９月のＡＣ教員審査を受審する予定である。

また、着任した教員には随時「新任教員説明会」を実施しており、学長を始めとした教学幹部自ら本学の教育理念、教育目的、行動指針、特色等について説明を行い、共通した認識をもって教育に当たれるよう徹底をしている。

３．新入生オリエンテーション

新入生へのオリエンテーションとして「２０２４年度 NBU 日本文理大学スタートアップ」を入学式翌日より５日間の日程にて実施した。

スタートアップは大学生活を充実させ、自立した社会人へと成長していくための第一歩であり、また学生満足度向上のための最初の取り組みであるとして、高校から急激に変わった新入生の環境に対する不安を解消するとともに、大学 4 年間での目標を考えさせるためのきっかけをつくる重要な行事と位置づけている。

教育理念・建学の精神を通じて、日本文理大学の「学び」を理解し、NBU で何が学べるかを知ることで、4 年間の全体像をイメージすることが重要なポイントとなる。そのため、新入生が 4 年間の全体像をイメージ出来るような内容とすることにより、新生活への不安を解消させ、スムーズにスタート地点に立てる「流れ」を軸としたスケジュールにて実施した。

◎ 日本文理大学を知る

建学の精神・教育理念を通じて、日本文理大学で何を学び、何を身につけるのかを理解し、4 年間のイメージ作り。

◎ 友人作り

大学で共に学ぶ仲間を見つけ、コミュニケーション能力を身につける。

◎ 生活支援

充実した学生生活を送るためにキャンパスルールならびに基礎知識を身につける。

◎ 学修支援

NBU で学ぶ方法と、学びのサポートを知る。

４．初年次人間力教育

大学、学部の趣旨・目的にも掲げている「人間力」を育成するため、１年生前期から必修科目「人間力概論」「社会参画入門」を配当している。

「人間力概論」は、「自分らしさを見つけ、人間関係を築くための知識とこころの力」をつける最初の導入と位置付けている。人生のベースとなる「生命（いのち）」あるいは「生きる」ということについて、社会や地域との接点から自分の役割を強く意識させ、「人間として現代社会をどう生きるか」を自分なりに考えられるようになることを目的とし、本学卒業までに修得すべき能力の基盤となる力を養う。

「社会参画入門」は、ひとりの大人としての自立に向けた第一歩として、自律した学修技術、人間関係形成能力の育成を目的としている。大学生になっても職業意識が未熟で、適職を見つけられない若者、また人間関係の形成が不十分で組織の中での自分の役割やチームワークの重要性の認識が不十分な若者が増えていることから、本授業を通じて、まず高校と大学の違いや、大学生に求められる能力を認識し、学修スキルを修得する。さらに、社会の現実とその関わり方や理想の将来像を確立するため、地元大分の企業取材やクラス内でのコミュニケーションを通じて、知識・思考力・働く意欲・思いやりなどを身につけるものとしている。

以上のことから、令和６年５月１日時点の判断として、「１．入学者の確保」「２．教員組織」については当初の予定から異なるものとなっているが、いずれも改善・対応可能であるものと考えている。その他については、当初の計画通りに教育活動を実施できているものと考えている。